

2023

令和5年度  
学校要覧

National Institute of Technology, Toyama College

## 教育理念

創 意 ・ 創 造  
自 主 ・ 自 律  
共 存 ・ 共 生



上記校章は、学生・学校・地域の3者が互いに手を取り合っている様子を表現し、協力・交流・持続的  
社会といったメッセージがこめられています。組み  
合わさって表現される形は、アルファベットのTをイ  
メージ。これは、Think(考える)、True(真実)、  
Thank(感謝)の3つの英単語の頭文字であると同  
時に、これらを包み込む母体であるToyama(富山)の  
Tをあらわしています。

富山高等専門学校 校歌

われら未来へ

片岡 輝  
池辺晋一郎  
曲 詩

白銀の峰を仰ぎ

胸一杯に大地の息吹を吸いこむ

両腕を翼に空に羽ばたけば

母なる地球が丸い

自在に思いを巡らし

自由に夢を形にする

この学舎でともに手を取り

藍色の海のかなた

波のしぶきに未知なる世界を目指す

嵐に耐えて針路を守れば

暁を星影が招く

自ら省みて行い

自らに恥じなく生きる

この青春とともに悔いなく

遙かなる未来見つめ

広く世界と語らい平和をうたう

真理を極め技を磨けば

吹く風に春の花が香る

たしかなあしどりで進もう

学舎の誇りを胸に

この時代とともに支えて

## 目 次 Contents

1 学校紹介	1
2 組織	10
3 学科紹介	12
4 専攻科紹介	27
5 教員名簿	30
6 ソリューションセンター	36
7 研究高度化推進センター	36
8 国際教育センター	37
9 入試広報センター	37
10 図書館情報センター	38
11 船舶運航センター	39
12 学生生活	40
13 地域社会との連携	44
14 研究活動	46
15 国際交流活動	47
16 財務状況	49
17 在学状況	51
18 入試状況	52
19 進路状況	54



本郷キャンパス



射水キャンパス

# 1 学校紹介

## ■ 校長あいさつ



校長 くに えだ よし あき  
          國 枝 佳 明

### ようこそ富山高専へ！

富山高等専門学校<sup>の</sup>令和5年度学校要覧を手に取り、開いていただきましたことに感謝申し上げます。また、富山高等専門学校（以下「本校」）にご関係の皆様、日頃から本校の教育・研究に対し多大なご協力・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。本校にご関心をお持ちの皆様、本誌をご覧いただき、本校を知っていただくとともに、その特徴と優れた人財育成の様子を感じていただければと思います。

本校は機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科並びに電子情報工学科の工学系4学科と、人文社会系の国際ビジネス学科、そして商船学科という多様な教育分野の6学科を有する全国唯一の高専です。本科に引き続く2年間の専攻科では、教育・研究の高度化のために7年一貫の教育を行っています。

本校はDP（ディプロマポリシー）に「AI・データサイエンスに関する情報科学の素養とビジネスの視点を身に付け、新たな価値の創造に挑戦できる」能力の修得を掲げています。すなわち、それぞれの専門分野において高度な専門性を身に付け、数理・データサイエンス・AI教育及びMOT（Management of Technology）教育により多種多様な情報を駆使し、技術やイノベーションを経営に活かすためのマネジメント能力を有する人財の育成を目指しています。これは、今社会で求められている、DX（デジタルトランスフォーメーション）やAI（人工知能）などの最新のテクノロジーを活かし、いかに経営的な側面から役立てて行くのかというマネジメントの考え方であり、本校が教育目標に掲げる「専門知識・技術を有し、将来、研究開発やビジネスをリードする能力を有した人財の育成」に他なりません。

また、本校における“15歳からはじまるキャンパスライフ”を通じて学生達、皆さんのWell-beingを高めることができると確信しています。本校ではWell-beingを高めるために学生達、皆さんの「挑戦」をサポートします。友人をはじめ、教職員、先輩や後輩、企業など実社会の人々との「つながり」の場や環境を提供します。さらに、自信を持ち「自己肯定感」を高めるために、知識やスキルの修得のみならずメンタル面を含め、あらゆる観点から応援します。そして多様性を大切に、学生一人ひとりが「ありのまま」に生活でき、伸び伸びと自らを成長させられるように導きます。「幸せ人口1000万～Well-being先進地域、富山」にあって、学生達をはじめ関係者のWell-being実現のために存在し続ける学校を目指しています。

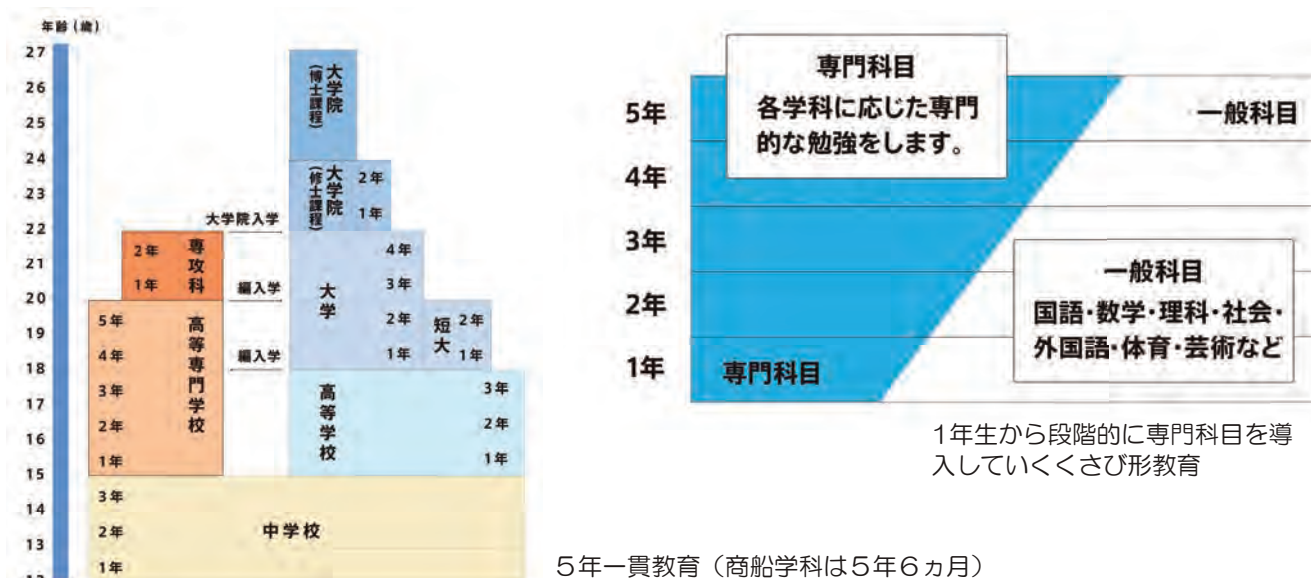
富山高等専門学校は、その特質を活かして学生達が自ら考え、他と協調し、創意工夫をして果敢にチャレンジできるように支援し、学生達が大きく飛躍できるように教育や関連する研究を行ってまいります。これら教育・研究を通じて他者のため、社会のために貢献できるよう、教職員が力を合わせて取り組んでまいります。どうぞ、皆様の変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願いいたします。

## ■本校の特質

富山高等専門学校は、富山工業高等専門学校（昭和39年設置）と富山商船高等専門学校（昭和42年設置）が、平成21年に高度化再編による統合により設置されました。工学系4学科（機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科、電子情報工学科）、全国では稀有の文系の国際ビジネス学科、東日本では唯一の商船学科という幅広い教育分野の本科6学科、専攻科4専攻を有する全国でも例のない高専です。国内有数の高等教育研究機関として、また国内51の高等専門学校の学術的・産業的研究分野のトップ校として、科学技術・海洋に関連する高度な研究者、北陸・我が国そして世界で活躍する技術者、ビジネスパーソン、及び海事技術者の育成を行っています。

## ■15歳からはじまるカレッジライフ

高等専門学校は、高等学校とは異なり、学校制度の中では大学と同じく「高等教育機関」として位置付けられています。例えるなら「中学校卒業から入れるカレッジ」で、「5年一貫教育」「くさび形教育」「実践的教育」という3つの大きな特徴があります。



## ■本校の強み・地理的特性

富山県は歴史的に、北前船の重要な中継港となってきた海洋県であり、この交易によって始まった製薬産業・化学産業、そして立山連峰のダムエネルギー・水資源利用によって始まった素材加工産業を大きな二本柱とする我が国でも有数の工業県です。県内企業の多くは東南アジアを中心として広く支店網を持つ国際的企業であり、これらの企業の帰国生徒の数も多いです。また、富山県の大学は、富山大学以下4つの4年制大学と2つの短期大学しかなく、県内高等教育機関としての本校の役割は極めて重要となります。

本校の多分野にまたがる15歳からの専門基礎教育（すなわちカレッジ教育）は、我が国の特に海事・ビジネスの分野において、そして富山県の人材供給要請に良く対応しており、それぞれの分野及び地域の産業界から高く評価されています（本校は「15歳からはじまるカレッジライフ」をキャッチコピーとしています）。このことは全国でもトップである高専サポート企業の数及び受託研究共同研究件数にも表れています。また、専攻科生を含めた地元就職率は全国高専中第4位であり、1～3位が東京・名古屋・大阪であることから、地方都市の高専としてはトップです。これらのことから地域産業界への貢献度は非常に高くなっています。



# 本校の取り組み

## 1 学校マネジメントにおける取り組み

### 1. 教育内容の充実

- ・AI・データサイエンス教育の全学的展開
- ・スタートアップ教育環境整備事業
- ・地域産業界と連携した実践教育

### 2. 両キャンパスのワンカレッジ化

- ・両キャンパス校内行事の統一
- ・教員・事務職員の互いのキャンパス勤務
- ・キャンパス間交流バスの運行
- ・両キャンパスのクラブ活動の交流促進・対外試合の1チーム化  
(野球部は令和3年度より本郷キャンパスと射水キャンパスの統合チームとなり、一つのチームとして高等学校野球連盟に登録しています)



キャンパス間交流バス



令和4年度卒業式



野球部統合チーム

### 3. 入試広報の強化

- ・本科学力試験の志望学科枠の全学科への拡大
- ・校長による中学校訪問
- ・県外入試広報の強化(カレッジガイド・ポスター・年賀状・ステッカー・公用車/バスラッピング)
- ・最寄り地受験・Web出願
- ・入試広報、広報物、教育体制などへの学生の積極的関与

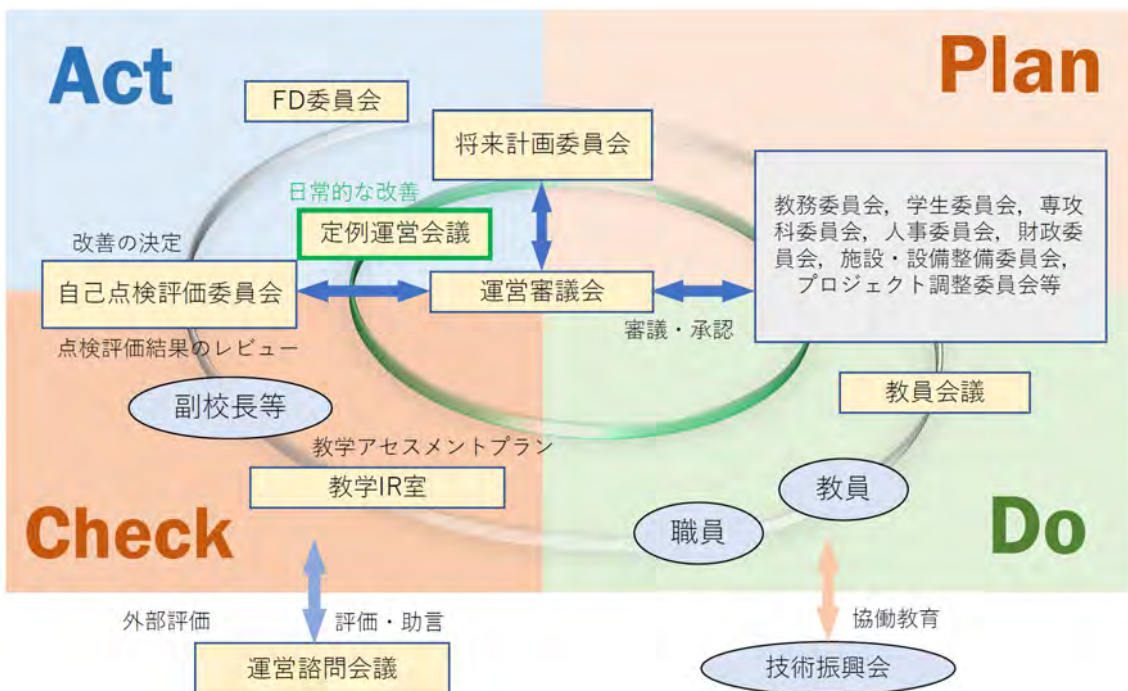
### 4. ダイバーシティ化

- ・全国高専トップを誇る女子学生比率・女子学生数
- ・帰国生徒の受け入れ実施
- ・学生の多様化への対応(転学科・海外帰国生徒への対応、専攻科の拡充・入試制度の見直し、大学の学部・修士課程への進学指導体制の構築)
- ・シラバス英語版の作成、本科・専攻科授業の英語化の強化、留学生受入、海外インターンシップの助成・拡充、HP英語版及び中国語版の更新、学校紹介動画の字幕の多言語化(タイ語・インドネシア語)
- ・障害を理由とする差別の解消と、合理的配慮のもとに、様々なニーズに的確に対応する相談・支援体制の整備



課題に励む女子学生

### 5. 内部質保証システム



※内部質保証システムとは、本校の教育・研究等の内部質保証を行い、向上させ、適切な水準にあることを、自らの責任で説明・証明するために、日常的な改善や年間単位等の改善を段階的に実施するものです。

## 2 危機管理への取り組み

- Teamsを利用した緊急連絡体制の整備
- カウンセラー4名、スクールソーシャルワーカー2名雇用による学生相談体制拡充
- 防犯カメラ設置による安全安心体制の整備
- Web出席簿導入
- メール連絡網システムによる災害・事故等緊急時の速やかな情報発信、情報の開封状況の確認体制整備
- 災害等の緊急時・通信インフラ使用不可時に備えた衛星電話の設置（本郷キャンパス・射水キャンパス・若潮丸）
- Microsoft365・本校メールの多要素認証導入
- インシデント発生時の連絡フロー・手順整備による情報セキュリティ対策
- 感染症の発生や荒天時等に備えた遠隔授業体制の整備



遠隔授業を受ける学生の様子

## 3 学力向上・教育力向上の取り組み

- 進学・就職指導室による就職活動の支援・進学希望者向けの補講
- 特命フェローによる補講、キャリア教育
- 英語力向上のためTOEIC IPテストを受験（本科3・4年生、専攻科1年生全員）
- 学生寮における学習会
- アセスメントプランに基づく、教育の点検評価（教学マネジメント）
- 学力向上のための、CBT（Computer Based Test）を実施
- 先端的な教育活動として学識者による特別講演会を保護者後援会の支援により実施
- オンライン教材を利用した効果的な自学自習の支援
- 外部講師によるFD研修会
- 教員間の授業参観（ピアレビュー）、学生授業アンケートによる授業改善
- 全学科におけるBYOD活用による教育の高度化・効率化

## 4 原級留置・休学・退学者の改善に向けた取り組み

原級留置・休学・退学となる主な理由としては学力不振が考えられます。その背景は多岐にわたり、学科とのミスマッチ感、家庭の生活環境によるメンタルな問題などが挙げられます。本校は、学習指導、生活指導、寮生活指導など学校全体として改善を行っています。具体的に以下の取り組みを行っています。

- 教科担当及び教務委員会主導による学力不振学生への補講
- 朝のショートホームルームによる学生の健康確認
- Web出席簿の整備
- 補習、追認試験の実施方法や単位認定基準・進級要件の検討
- 各科目の成績分布ヒストグラム、未修得割合、授業アンケートの結果分析による授業改善
- 学生・保護者と学校の連絡体制の強化

## 5 教育の国際化のための取り組み

教育の国際化のため、海外戦略担当の校長補佐を配置するとともに国際教育センターを設置し積極的に教育の国際化に取り組んでいます。

- 学生の海外派遣  
2週間程度の海外企業へのインターンシップや1ヶ月の海外大学でのアカデミックインターンシップ、半年・1年の留学等を行っています（令和元年度 計27名）。更に、学生の国際会議での発表を推進するための取り組みについて、検討を行っています。また、トビタテ！留学JAPANへの応募、採択数向上を目指していますが、これまで高校生コースにおいて、5名（2期）、4名（3期）、2名（4期）、7名（5期）と高い採択の実績があり、大学生コースにおいても継続的に1名（4期）、1名（5期）、2名（6期）の採択された実績があります。
- 短期留学生受入  
海外の協定締結期間から滞在期間2～3ヶ月の短期留学生を受入れ、キャンパスや学生寮に常に短期留学生がいる環境を作り出しています。留学生との交流を通じ、学生に国際的な感覚を身につけさせるよう努めています。
- タイ政府奨学金留学生の受入  
令和4年度から、タイ政府奨学金留学生を1年次に受け入れ、現在6名の留学生が在籍しています。また、令和5年度からは、タイ高専からの留学生1名が、3年次に編入学しています。留学生のサポートとして、日本語担当教員や留学生支援員を配置し、さらに、第3ブロック（東海・北陸・関西地区）の拠点校としてグローバル活動のノウハウを蓄積する等、他高専への展開を目指しています。
- 教員の派遣  
各種国際シンポジウムへの参加を促しています。また1～2ヶ月の期間、研究活動等を行うため海外協定校に本校の独自事業として教員を派遣しています。教員の研究力の向上と合わせて、学生教育への還元を目指しています。

## 6 研究力向上・地域との連携等のための取り組み

研究力向上のため、長岡技術科学大学等との間で機器共用ネットワーク事業を実施するなど、他機関と連携した研究を推進しています。また、高専間では、第3ブロック研究推進ボードが開催する、第3ブロック専攻科研究フォーラムに参加しています。外部資金の獲得については、科研費関連講習会を開催するほか、採択率アップのため、本校独自の科研費申請調査読システムによる申請書のブラッシュアップを行っています。また、科研費以外のJSTや財団等の外部資金についても、公募情報を校内に積極的に発信しています。

地域との連携については、国立高専最大級の会員数（企業会員293社、個人会員19名）を誇る富山高等専門学校技術振興会のイベントや、本校と共同開催する「とやまKOSENコラボフォーラム」において、本校教職員、会員企業および本校学生のネットワーク構築を推進しています。令和元年度からは会員企業を対象に、本科1年生全員が企業の調査・資料作成プレゼンテーションを行う授業（Ti-TEAM）を実施しています。科学技術振興機構事業においては、小中学生を対象に将来の研究者の卵を発掘・育成を目的として「ジュニアドクター育成塾」を開講し、海洋科学やロボットプログラミングをはじめ、幅広い分野の学びを提供しています。



ジュニアドクター育成塾

## 7 同窓会との連携した取り組み

令和元年、本校は統合再編から10周年を迎え、この機会に統合高専としての新たな同窓会「富山高等専門学校同窓会」が設立されました。この新同窓会は統合後の卒業生を中心に組織され、旧富山工業高等専門学校の同窓会（ほんごう会）および旧富山商船高等専門学校の同窓会（北斗会）と連携を図りながら活動を行うこととし、学校と同窓会の窓口を一本化しました。

富山高等専門学校同窓会には、式典や運営諮問会議等の学校行事への参画をいただいているとともに、学校への支援・協力をいただいています。

## 8 業務削減・効率化の取り組み

- ・リモート会議利用によるキャンパス間移動の負担軽減、ペーパーレス化
- ・契約業務の効率化（両キャンパス一括契約・複数年契約等）
- ・電力使用量の調整（組織的機器停止等）
- ・教員のクラブ活動指導の負担軽減のため課外活動指導員の採用

## ■本校の教育目標

### 1「専門知識・技術を有し、将来、研究開発やビジネスをリードする能力を有した人材の育成」

高等専門学校は、専門知識・技術を有する創造的な人材の育成を目的として、学生の一人一人の希望と社会のニーズに適合した人材、特に地域産業界において研究開発やビジネスをリードできる人材の育成に努めます。

### 2「自ら考え、主張し、行動する主体性を有した人材の育成」

社会で専門知識・技術を活かすには、自分の考えを人に伝え、周囲の協力を得ながら行動することが重要です。そのため、まず自分の頭で考えることのできる創意工夫の態度を持った人材、さらに主体性を持って行動することのできる人材の育成に努めます。

### 3「豊かな教養と倫理観を有し、他者や地球との共生の精神を有した人材の育成」

研究開発やビジネスをリードするには、技術やビジネスが社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、技術者やビジネスパーソンが社会に負っている責任について認識することが重要です。そのため、技術者倫理を尊重し、また自然や地球との共生の精神を持った人材の育成に努めます。

## ■準学士課程(本科)ディプロマポリシー（育てる人材像）

富山高等専門学校は、専門知識・技術を有し、将来、研究開発やビジネスをリードする能力を有した人材の育成（創意・創造）、自ら考え、主張し、行動する主体性を有した人材の育成（自主・自律）、豊かな教養と倫理観を有し、他者や地球との共生の精神を有した人材の育成（共存・共生）を理念としている。本校ではこの理念に基づいて、以下の卒業認定に必要な能力を身に付け、各学科が定める学習成果を上げた者に準学士の称号を授与する。

- 1 国内外の実社会で活用できる科学的基礎知識とリベラルアーツを身に付けている。
- 2 専門基盤知識を修得し、実験・実習および演習・実技を通してその知識を社会実装に応用・実践できる。
- 3 AI・データサイエンスに関する情報科学の素養とビジネスの視点を身に付け、新たな価値の創造に挑戦できる。
- 4 自分の意見を論理的に表現し、周囲と理解・尊重しあうコミュニケーション力を身に付けている。

## ■専攻科ディプロマポリシー（育てる人材像）

富山高等専門学校は、専門知識・技術を有し、将来、研究開発やビジネスをリードする能力を有した人材の育成（創意・創造）、自ら考え、主張し、行動する主体性を有した人材の育成（自主・自律）、豊かな教養と倫理観を有し、他者や地球との共生の精神を有した人材の育成（共存・共生）を理念としている。富山高等専門学校専攻科ではこの理念を発展させた以下のような能力と素養を身に付けた学生に修了を認定する。

- 1 国内外の多様な社会で活用できる科学的知識とリベラルアーツを身に付けている。
- 2 高度な専門知識を修得し、その知識を応用・実践し社会実装できる。
- 3 自らの意見を表現するとともに、多様な人々との協働を可能にするコミュニケーション能力を身に付けている。



## 教育システムに関する外部（第三者）評価

### 1 大学改革支援・学位授与機構による認証評価

高等専門学校は、教育研究活動等の状況について、一定期間ごとに文部科学大臣から認証を受けた評価機関による評価（認証評価）を受けることが義務付けられています。

富山高等専門学校では令和4年度に高等専門学校機関別認証評価を受審し、認定を受けています。

認証評価は、

1. 大学改革支援・学位授与機構が定める高等専門学校評価基準に基づいて、高等専門学校を定期的に評価することにより、教育研究活動等の質を保証すること。
2. 高等専門学校の自己評価に基づく第三者評価を行うことにより、高等専門学校の教育研究活動等に関する内部質保証システムの確立・充実を図ること。
3. 評価結果を各高等専門学校にフィードバックすることにより、各高等専門学校の教育研究活動等の改善に役立てること。
4. 高等専門学校の教育研究活動等の状況を明らかにし、それを社会に示すことにより、公共的な機関として高等専門学校が設置・運営されることについて、広く国民の理解と支持が得られるよう支援・促進していくこと。

を目的として実施されており、本校の教育研究活動等の状況を社会に積極的に提供するため、評価報告書（評価結果）及び自己評価書がホームページ上で公表されています。

### 2 大学改革支援・学位授与機構による専攻科に関する審査

本校は、6学科に対応する4専攻科（エコデザイン工学専攻、制御情報システム工学専攻、国際ビジネス学専攻、及び海事システム工学専攻）を設置しています。専攻科の教育システムは5年に一度、大学改革支援・学位授与機構による審査があり、本校は、「特例適用専攻科」の認定を受けています。これにより、学士の学位取得にあたって必要な学修成果に関する試験が免除されます。

### 3 JABEE（日本技術者教育認定機構）認定

富山高専では、「エコデザイン工学」教育プログラム(Education Program for Ecodesign Engineering)、ならびに「制御情報システム工学」教育プログラム（Education Program for Control Information System Engineering）の2つを工学系専攻で実施しています。これらの教育プログラムは、国際化に対応した技術者教育を行っている高等教育機関として、日本技術者教育認定機構(Japan Accreditation Board for Engineering Education, JABEE)より認定を受けています。これにより、エコデザイン工学専攻および制御情報システム工学専攻の修了生は、JABEEの認定プログラム修了生として国家資格「技術士」の第一次試験が免除され、修習技術者として認められます。

- ・「エコデザイン工学」教育プログラム（2004年度より認定）  
本科の機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科4・5年生と、専攻科エコデザイン工学専攻のカリキュラム履修者が対象となります。
- ・「制御情報システム工学」教育プログラム（2008年度より認定）  
本科の電子情報工学科の4・5年生と、専攻科制御情報システム工学専攻のカリキュラム履修者が対象となります。

### 4 商船学科のSTCW教育機関としての認定審査

商船学科の教育プログラムは、卒業時の海技士資格(国際標準)取得を目指すものとなっており、教育プログラムについては、5年に一度、国土交通省による審査を受けています。国土交通省は、日本の船舶職員教育機関の教育プログラムがSTCW（Standards of Training, Certification and Watchkeeping for Seafarers）条約を満たしていることを審査・認定し、IMO（国際海事機関）に報告しています。商船学科は、このSTCW条約に基づく資質基準制度により、適正な船舶職員養成機関として認定されています。

### 5 KIS（国立高専教育国際標準認定制度）

国立高専教育国際標準認定制度(KOSEN International Standard : KIS)」とは、高専の5年間一貫教育に対して、国際的な基準に基づき審査し、高専の本科教育の質保証を国内外に対して明示するものです。本校は、今年度受審いたします。

## 6 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定

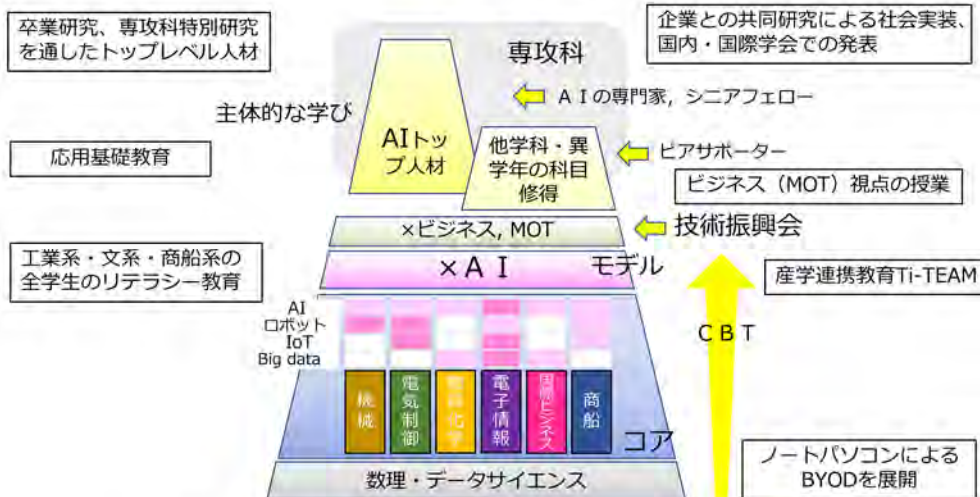
政府が示したAI戦略2019によれば、「数理・データサイエンス・AI」は、デジタルトランスフォーメーション(DX)社会の「読み・書き・そろばん」です。

富山高専では、DX社会で活躍する人材の輩出のため、全学科に対してBYOD (Bring Your Own Device) を導入したIT教育を進め、平成29年度入学生から全学科で、数理・データサイエンス・AI教育を実施しています。この教育プログラムは、文部科学大臣から「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」に富山県内で初めて認定されるとともに、令和4年度には全国の大学・高専のなかの18校の1つとしてリテラシーレベルプラスに選定されました。また、電気制御システム工学科および電子情報工学科の2学科の教育プログラムについては、応用基礎レベルに認定されています。

令和3年度入学生から全学生に対し、リテラシーレベルに加えて応用基礎レベルの教育プログラムを展開し、「データサイエンスIおよびII」や「AI/MOT」を開講するなど、継続的に教育プログラムの改善、進化に努めています。



## Society5.0で「たくましく生きる」人材：専門×データ・AI



カリキュラム概念図

※Ti-TEAM : Team initiatives based on cooperative Education to support the Ability to discover and solve problems from Multiple perspectives の略

## ■本校の沿革

### 旧 富山工業高等専門学校

昭和 39 年 4 月	富山工業高等専門学校設置（機械工学科、電気工学科、工業化学科）
昭和 44 年 4 月	金属工学科設置
平成元年 4 月	工業化学科を物質工学科に改組
平成 5 年 4 月	専攻科設置（機械・電気システム工学専攻、機能材料工学専攻）
平成 6 年 10 月	富山工業高等専門学校創立 30 周年記念エコテクノロジーに関するアジア国際シンポジウム－富山'94 開催
平成 7 年 4 月	金属工学科を環境材料工学科に改組
平成 16 年 4 月	独立行政法人移行（独立行政法人国立高等専門学校機構設置）
平成 17 年 5 月	JABEE（日本技術者教育認定機構）の認定（「エコデザイン工学」プログラム）
平成 19 年 10 月	第 14 回エコテクノロジーに関するアジア国際シンポジウムを大韓民国 慶熙大学校において開催（主催：国立高等専門学校機構 主管：富山工業高等専門学校）

### 旧 富山商船高等専門学校

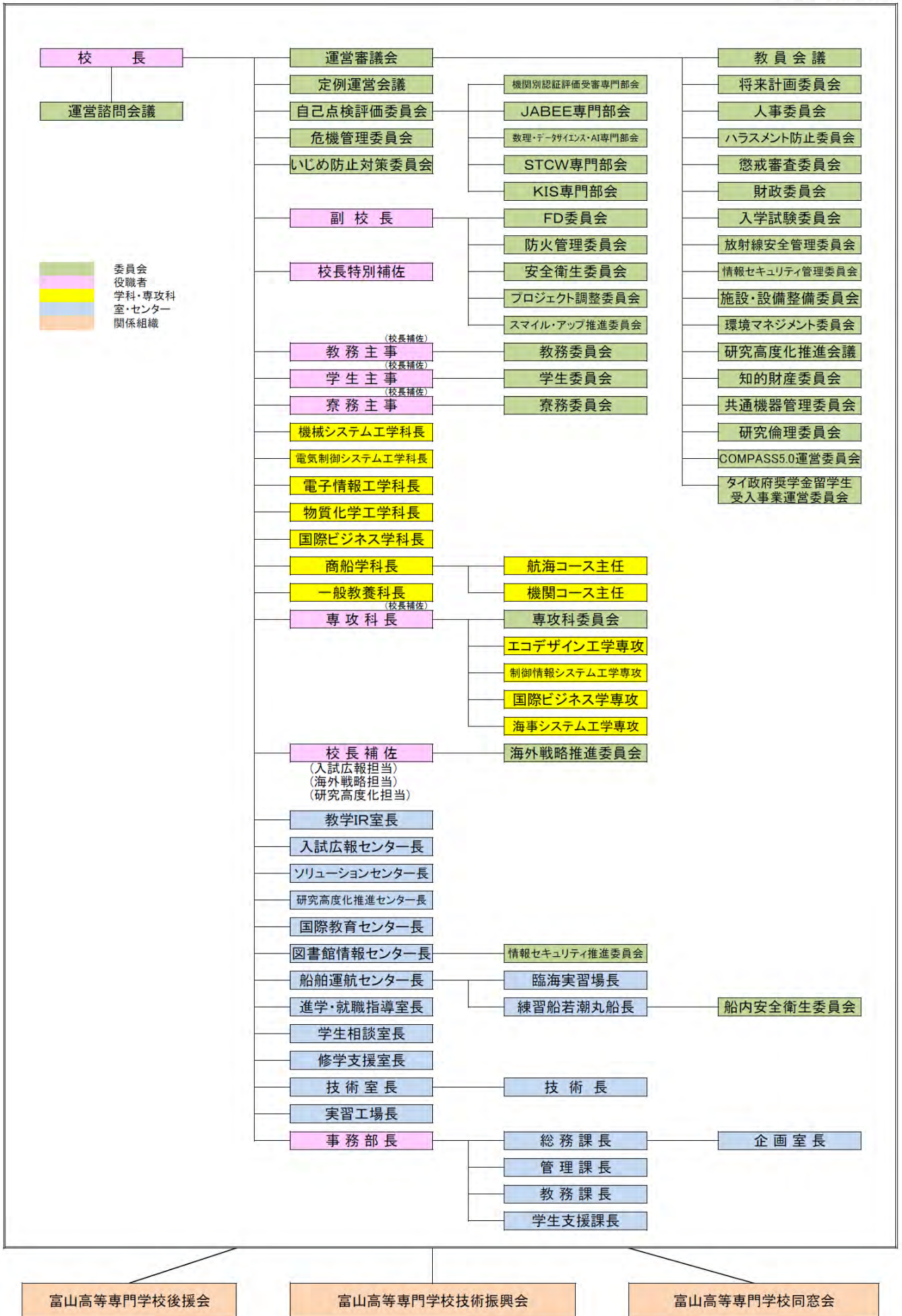
明治 39 年 7 月	新湊町立新湊甲種商船学校創立
明治 42 年 4 月	富山県へ移管、富山県立商船学校となる
昭和 14 年 8 月	文部省へ移管、富山商船学校となる
昭和 17 年 1 月	逓信省所管となる
昭和 18 年 11 月	運輸通信省所管となる
昭和 20 年 5 月	運輸省所管となる
昭和 26 年 4 月	文部省へ移管、富山商船高等学校となる
昭和 42 年 6 月	富山商船高等専門学校となる（航海学科、機関学科）
昭和 44 年 4 月	現在地（新湊市海老江練合）に移転 航海学科 1 学級増
昭和 60 年 4 月	航海学科 2 学級を 1 学級に改組及び情報工学科を設置
昭和 63 年 4 月	航海学科及び機関学科を商船学科（航海コース、機関コース）に改組及び電子制御工学科を設置
平成 8 年 4 月	国際流通学科設置
平成 16 年 4 月	独立行政法人移行（独立行政法人国立高等専門学校機構設置）
平成 17 年 4 月	専攻科設置（海事システム工学専攻、制御情報システム工学専攻）
平成 18 年 10 月	創立 100 周年記念式典を挙行
平成 21 年 4 月	JABEE（日本技術者教育認定機構）の認定（「制御情報システム工学」プログラム）

### 富山高等専門学校

平成 21 年 10 月	富山高等専門学校設置（機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科、電子情報工学科、国際ビジネス学科、商船学科及び専攻科エコデザイン工学専攻（機械・電気システム工学コース、機能材料工学コース）、制御情報システム工学専攻、国際ビジネス学専攻、海事システム工学専攻） 新専攻科生（海事システム工学専攻）受入
平成 22 年 4 月	新学科生、専攻科生受入
平成 27 年 4 月	専攻科エコデザイン工学専攻（機械・電気システム工学コース、機能材料工学コース）をエコデザイン工学専攻に改組
平成 27 年 10 月	創立 50 周年・創基 110 周年記念式典を挙行
令和元年 6 月	統合 10 周年記念式典を挙行
令和 3 年 6 月	数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）認定（全学科）
令和 4 年 8 月	数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（リテラシーレベル プラス）選定（全学科）
令和 4 年 8 月	数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）認定（電気制御システム工学科、電子情報工学科）
令和 5 年 3 月	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価の認定

## 組織図

令和5年4月1日現在



## ■ 役職者名簿

校長	國枝佳明
副校長	佐瀬直樹
副校長	塚田章
副校長	山本桂一郎
教務主事・校長補佐	森田康文
教務主事・校長補佐	小熊博
学生主事・校長補佐	佐藤圭祐
学生主事・校長補佐	山本桂一郎
寮務主事・校長補佐	日比端洋
寮務主事・校長補佐	海老原毅
校長補佐（海外戦略担当）	岡根正樹
校長補佐（研究高度化担当）	袋布昌幹
校長補佐（入試広報担当）	喜多正雄

学科等	
機械システム工学科長	白川英観
電気制御システム工学科長	古川裕人
物質化学工学科長	河合孝恵
電子情報工学科長	阿蘇司
国際ビジネス学科長	松原義弘
商船学科長	保前友高
航海コース主任	向瀬紀一郎
機関コース主任	経田僚昭
一般教養科長・主任	高越義一
主任	山本有希

専攻科	
専攻科長	百生登
副専攻科長	秋口俊輔

入試広報センター	
入試広報センター長	喜多正雄
副センター長	山口晃史

ソリューションセンター	
ソリューションセンター長	宮重徹也
副センター長	山本久嗣

研究高度化推進センター	
研究高度化推進センター長	袋布昌幹
副センター長	的場隆一

国際教育センター	
国際教育センター長	古山彰一
副センター長	吉川文恵美
副センター長	星野朱美

図書館情報センター	
図書館情報センター長	椎名徹
副センター長	井澤正樹
副センター長	萩原信吾

船舶運航センター		
船舶運航センター長	松村茂実	
臨海実習場長	松村茂実	
練習船若潮丸船長	金山恵美	

進学・就職指導室	
進学・就職指導室長	小熊博

学生相談室	
学生相談室長	宮崎衣澄

修学支援室	
修学支援室長	塚田章

教学IR室	
教学IR室長	塚田章

技術室	
技術室長	佐瀬直樹
技術長	今井英之

実習工場	
実習工場長	今井英之

事務局	
事務部長	唐沢裕之
総務課長	横山雅彦
管理課長	唐沢裕之
教務課長	米内治寿
学生支援課長	矢田部正寿

## ■ 教職員の現員

教職員等数		令和5年5月1日
教員	校長	1
	教授	42
	准教授	43
	講師	8
	助教	13
	助手	1
職員	小計	108
	事務職員	56
	技術職員	25
	小計	81
合計	189	

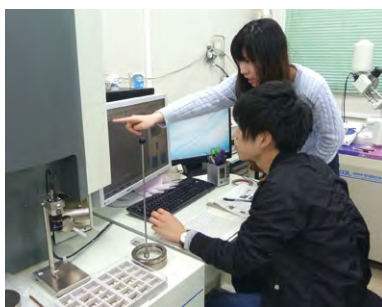
所属別教員数		
学科等	機械システム工学科	12
	電気制御システム工学科	11
	物質化学工学科	14
	電子情報工学科	14
	国際ビジネス学科	12
	商船学科	13
	一般教養科	27
練習船若潮丸	4	
合計	107	

## 3 学科紹介

### ■ 機械システム工学科

# 本物を追い求め、それを具現化する君たちへ 夢の実現は、いつだって「機械」からはじまる

機械工学は、人々の生活を豊かにする学問で、自動車やロケットなど輸送機器はもちろんのこと、スマートフォンや医薬品の製造など、様々な分野でモノづくりを支えています。モノづくりの基盤となるCAD・CAE（コンピューター支援設計・解析）だけでなく、これからの社会で不可欠となる制御、プログラミングに関する知識も講義と実験・実習を通してバランスよく学びます。本学科では幅広い分野で活躍できる創造的な機械エンジニアを育成します。



## 機械システム工学科 教育目標

機械学工学およびメカトロニクスの知識と技術を総合的に身につけ、機械設計・開発ができる技術者を育成します。

機械設計・生産、材料、ダイナミクス、エネルギー、計測と制御などの機械システム工学の基礎知識を活用できる技術者を育成します。

機械工学的に考える能力を身につけ、産業分野だけでなく人々の生活で役立つ最先端な機械の設計・開発へと展開できる創造性・探求心豊かな技術者を育成します。

# Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	データサイエンスⅠ	1	1					
	データサイエンスⅡ	1	1					
	メカトロニクス入門	1	1					
	機械製図Ⅰ	1	1					
	情報処理	1		1				
	CAD工学	1		1				
	製造と加工Ⅰ	1		1				
	基礎材料工学Ⅰ	1		1				
	メカトロニクスⅠ	1		1				
	機械実習Ⅰ	2		2				
	機械設計Ⅰ	2			2			
	材料力学Ⅰ	1			1			
	工業力学Ⅰ	1			1			
	熱力学Ⅰ	1			1			
	流体工学Ⅰ	1			1			
	機械実習Ⅱ	2			2			
	機械実習Ⅲ	2			2			
	機械実験Ⅰ	2				2		
	機械実験Ⅱ	2				2		
	メカトロニクスⅡ	1				1		
	基礎研究	2				2		
	AI・MOTⅠ	1				1		
	AI・MOTⅡ	1				1		
卒業研究	12						12	
計	42		4	7	10	9	12	
選択科目	機械製図Ⅱ#	2	2					
	製造と加工Ⅱ#	1		1				
	基礎材料工学Ⅱ#	1		1				
	機械設計Ⅱ#	2			2			
	材料力学Ⅱ#	1			1			
	工業力学Ⅱ#	1			1			
	応用物理#	1			1			
	応用数学Ⅰ#	1			1			
	インターシップ	2					2	
	プログラミング#	1					1	
	設計製図Ⅰ#	2					2	
	設計製図Ⅱ#	2					2	
	材料力学Ⅲ#	2					2	
	機構学#	2					2	
	機械力学#	2					2	
	計測制御#	2					2	
	熱力学Ⅱ#	2					2	
	流体工学Ⅱ#	2					2	
	応用数学Ⅱ#	1					1	
	応用数学Ⅲ#	2					2	
	機械システム工学特論	1						1
	数値解法	2						2
	生産管理	2						2
	材料強度学	2						2
	弾塑性力学	2						2
	材料工学	2						2
	振動工学	2						2
制御工学	2						2	
伝熱工学	2						2	
エネルギー機械	2						2	
AI・ロボット科目群※	4						4	
修得すべき単位数	82単位以上							

※ AI・ロボット科目群については、学類内の他学科の科目を4単位まで取得可能とする。

選択できる科目については別に定める。

# は必修科目とする。

## ■電気制御システム工学科

# ロボット、情報システムからエネルギーまで —未来を支え創造するエンジニアに—

電気、電子や情報通信分野を基礎から先端技術までバランスよく学び、実験・実習を通して、それぞれの分野にまたがる応用力を身につけた実践的技術者を育成します。

卒業後は電気技術者・情報技術者、または、それらを融合したロボットや人工知能などを開発する技術者など社会を支え、人の暮らしを豊かにするスペシャリストとしての活躍が期待されます。



## 電気制御システム工学科 教育目標

電気工学、電子工学やコンピュータ、情報処理に関連する技術を総合的に学び、創造的な技術開発ができる技術者を育成します。

エネルギーや情報通信など幅広い分野で社会を支えるシステム開発ができる技術者を育成します。

ロボットや人工知能など先端かつ融合的分野で人の暮らしに役立つ情報システム作りができる技術者を育成します。



# Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	電気電子基礎	2	2					
	データサイエンスⅠ	1	1					
	データサイエンスⅡ	1	1					
	電気電子基礎工学実験	3	3					
	基礎電気工学	1		1				
	電気回路Ⅰ	1		1				
	電気磁気学Ⅰ	1		1				
	電気電子工学実験	2		2				
	情報システム実習	2			2			
	システム工学実験Ⅰ	2			2			
	AI・MOTⅠ	1				1		
	AI・MOTⅡ	1				1		
	システム工学実験Ⅱ	2				2		
	システム工学実験Ⅲ	2				2		
基礎研究	1				1			
卒業研究	12					12		
計	35	7	5	4	7	12		
選択科目	情報処理Ⅰ#	1	1					
	情報処理Ⅱ#	1		1				
	設計製図Ⅰ	1		1				
	プログラミング学Ⅰ#	1		1				
	プログラミング学Ⅱ#	1		1				
	環境・エネルギー実習	1		1				
	電気回路Ⅱ#	1			1			
	電気磁気学Ⅱ#	1			1			
	電子回路Ⅰ#	1			1			
	プログラミング学Ⅲ#	1			1			
	応用数学Ⅰ#	1			1			
	設計製図Ⅱ	1			1			
	電気回路Ⅲ#	1			1			
	電気磁気学Ⅲ#	1			1			
	電子回路Ⅱ#	1			1			
	エネルギー力学	1			1			
	ロボット力学#	1			1			
	信号処理工学Ⅰ	1			1			
	電気回路Ⅳ#	2				2		
	電気磁気学Ⅳ#	2				2		
	電気機械Ⅰ#	1				1		
	制御工学Ⅰ#	2				2		
	信号処理工学Ⅱ	1				1		
	計測工学Ⅰ#	1				1		
	技術者倫理#	1				1		
	ロボティクス設計	1				1		
	情報システム設計	1				1		
	電気工学特講	2				2		
	電子工学#	2				2		
	制御工学Ⅱ	2				2		
	電気機械Ⅱ#	1				1		
	応用物理	1				1		
	応用数学Ⅱ	1				1		
	応用数学Ⅲ	1				1		
	AI・機械学習論	1				1		
	インターシッブ	2				2		
	システム工学	2					2	
	電力システム論Ⅰ#	1					1	
	ロボット工学Ⅰ	2					2	
	情報システム工学	2					2	
	計測工学Ⅱ#	1					1	
	電気材料#	2					2	
電力システム論Ⅱ#	1					1		
ロボット工学Ⅱ	2					2		
情報通信工学	2					2		
電気法規・施設管理	1					1		
AI・ロボット科目群※	4					4		
修得すべき単位数	82単位以上							

※ AI・ロボット科目群については、学類内の他学科の科目を4単位まで取得可能とする。

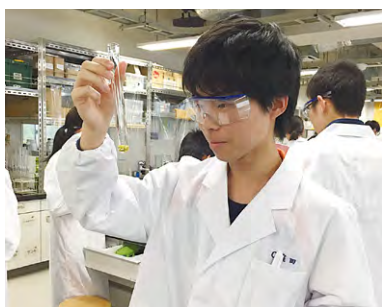
選択できる科目については別に定める。

# は必修科目とする。

## 化学のおもしろさと出会いながら、 実験を通して確かな技術と知識を

物質の組成・構造・変化について理解し、化学的・生物化学的に物質を製造する技術者を養成することを目的としています。主に講義と実験の2本立てで授業を行うことで、確かな知識と基礎的技術が学べます。

さらにナノマテリアル・生命科学・環境技術等の最先端の知識と技術を習得することにより、化学・医薬品工学分野で活躍できる技術者としての未来が開けます。



### 物質化学工学科 教育目標

化学を基礎として、機能性物質・材料、環境科学、生物化学などの幅広い分野および最先端技術に関する知識・技術を備え、生涯にわたり最前線で活躍する技術者を育成します。

多様な考え方を理解する幅広い教養を有し、専門知識から新たな物質・材料や新技術を創り出すための判断力と実行力、技術者倫理を備えた創造的な技術者を育成します。

化学品・医薬品工業をはじめとする地域の重要産業の発展、さらには環日本海地域および世界の持続的な発展に貢献できる技術者を育成します。

# Curriculum

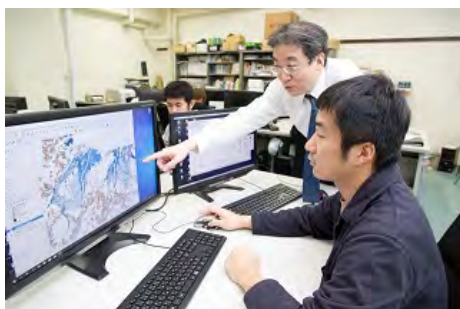
科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	データサイエンスⅠ	1	1					
	データサイエンスⅡ	1	1					
	物質化学基礎実験	3	3					
	情報・技術者倫理入門	1	1					
	分析化学実験	3		3				
	有機化学実験	2			2			
	無機化学実験	2			2			
	特別実験	1			1			
	物理化学実験	2				2		
	化学工学実験	2				2		
	生物化学実験	2				2		
	基礎研究	1				1		
	AI・MOTⅠ	1				1		
	AI・MOTⅡ	1				1		
機器分析実験	2					2		
卒業研究	12					12		
計	37	6	3	5	9	14		
選択科目	有機化学Ⅰ#	1		1				
	有機化学Ⅱ#	1		1				
	無機化学Ⅰ#	2		2				
	分析化学Ⅰ#	1		1				
	生物化学#	1		1				
	情報処理Ⅰ#	1		1				
	有機化学Ⅲ#	1			1			
	分析化学Ⅱ#	1			1			
	基礎化学工学#	2			2			
	基礎生物化学#	2			2			
	無機化学Ⅱ#	1			1			
	無機化学Ⅲ#	1			1			
	物理化学Ⅰ#	2			2			
	情報処理Ⅱ#	1			1			
	応用数学Ⅰ	1				1		
	応用数学Ⅱ	1				1		
	応用物理Ⅰ	1				1		
	応用物理Ⅱ#	1				1		
	有機化学Ⅳ	2				2		
	有機化学Ⅴ	1				1		
	無機化学Ⅳ	2				2		
	化学工学Ⅰ#	1				1		
	化学工学Ⅱ#	1				1		
	生物化学Ⅰ#	1				1		
	生物化学Ⅱ#	1				1		
	物理化学Ⅱ#	1				1		
	物理化学Ⅲ	1				1		
	材料工学	2				2		
	機器分析Ⅰ	1				1		
	高分子化学Ⅰ#	1				1		
	分子生物学	1				1		
	インターンシップ	2				2		
	反応化学工学	2					2	
応用物理Ⅲ	2					2		
工業化学	2					2		
高分子化学Ⅱ	2					2		
遺伝子工学	1					1		
応用微生物学	1					1		
機器分析Ⅱ	2					2		
環境科学	2					2		
生物有機化学	1					1		
修得すべき単位数	82単位以上							

# は必修科目とする。

## ■ 電子情報工学科

# 電子システムからAI開発まで！ C言語、Java、Pythonはじめ最先端のコンピューター技術を学び、動かし、世界と繋ぐ

ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク・システムについて学び、創造的技術開発に応用できる技術者を育成します。授業では、画像処理、AI開発や電子回路制作、IoTやネットワーク機器のプログラミングなどを実践的に学びます。将来は、情報処理技術者、ネットワーク技術者として様々な分野で活躍できます。



### 電子情報工学科 ■ 教育目標

アプリケーションからAIまでの総合的なプログラムが設計開発できる技術者を育成します。

センサからインターフェイスを含む電子回路設計ができる技術者を育成します。

ネットワークを活用してシステム設計ができる技術者を育成します。

# Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	電子情報工学実験ⅠA	2	2					
	電子情報工学実験ⅠB	2	2					
	データサイエンスⅠ	1	1					
	データサイエンスⅡ	1	1					
	電子情報基礎	1	1					
	基礎電気Ⅰ	1		1				
	基礎電気Ⅱ	1		1				
	プログラミングⅠ	1		1				
	プログラミングⅡ	1		1				
	電子情報工学実験ⅡA	2		2				
	電子情報工学実験ⅡB	2		2				
	電子情報数学Ⅲ	1			1			
	電子情報工学実験ⅢA	2			2			
	電子情報工学実験ⅢB	2			2			
	電子情報工学実験Ⅳ	2				2		
	基礎研究	1				1		
	AI・MO TI	1				1		
	AI・MO TII	1				1		
卒業研究	12					12		
計	37	7	8	5	5	12		
選択科目	コンピュータシステムⅠ#	1		1				
	コンピュータシステムⅡ#	1		1				
	電子情報数学Ⅰ	1		1				
	電気回路Ⅰ#	1			1			
	電気回路Ⅱ#	1			1			
	電子回路Ⅰ#	1			1			
	電子回路Ⅱ#	1			1			
	プログラミングⅢ	1			1			
	コンピュータシステムⅢ	1			1			
	アルゴリズムとデータ構造Ⅰ#	1			1			
	アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	1			1			
	電子情報数学Ⅱ	1			1			
	応用物理Ⅰ#	1			1			
	応用物理Ⅱ#	1			1			
	電気回路Ⅲ#	1				1		
	制御工学	1				1		
	電気磁気学Ⅰ#	1				1		
	電気磁気学Ⅱ#	1				1		
	電子回路Ⅲ#	1				1		
	センサ工学#	1				1		
	応用数学Ⅰ	1				1		
	応用数学Ⅱ	1				1		
	通信システム#	2				2		
	オペレーティングシステム#	2				2		
	数値計算	1				1		
	情報理論#	1				1		
	創造工学設計Ⅰ#	2				2		
	創造工学設計Ⅱ#	2				2		
	応用物理Ⅲ#	2				2		
	インターシップ	2				2		
	電子システム	1					1	
	コンピュータ計測	1					1	
	電気電子回路	2					2	
電波工学	1					1		
デジタル信号処理	1					1		
情報ネットワーク#	2					2		
メディア工学Ⅰ	1					1		
メディア工学Ⅱ	1					1		
ソフトウェア工学#	2					2		
計算工学#	2					2		
離散数学	2					2		
応用数学Ⅲ	2					2		
応用数学Ⅳ	2					2		
技術英語	1					1		
AI・ロボット科目群※	4					4		
修得すべき単位数	82単位以上							

※ AI・ロボット科目群については、学類内の他学科の科目を4単位まで取得可能とする。  
 選択できる科目については別に定める。

# は必修科目とする。

## 国際ビジネス学科

# 富山から環日本海へ、そして世界へ 外国語とビジネスの知識を駆使するグローバル な人材を育てる

国際的なコミュニケーションの基礎となる英語や環日本海諸国語という、2つの“使える外国語能力”と異文化への寛容性を身につけ、ビジネスに関する専門的な知識を学びます。さまざまな情報を統合して活用する手法やプレゼンテーション技術などを養い、環日本海交流の拠点を目指す富山県を中心として、国際的に活躍し、地域社会や地域産業に貢献できるビジネスパーソンを育成します。



## 国際ビジネス学科 教育目標

ビジネスに関する専門的な知識を身に付け、活用できる人材を育成します。

英語と、もう一つの外国語（中国語・ロシア語）が使える語学力を身に付けたビジネスパーソンを育成します。

# Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	データベースサイエンス I	1	1					
	データベースサイエンス II	1	1					
	商学概論 I	1	1					
	商学概論 II	1	1					
	会計学概論 I	1		1				
	会計学概論 II	1		1				
	経営管理論 I	1			1			
	経営管理論 II	1			1			
	ビジネスゼミナール I	1				1		
	ビジネスゼミナール II	1				1		
AI・MOT I	1				1			
AI・MOT II	1				1			
卒業研究	12						12	
	計 24	4	2	2	4	12		
選 科 目	情報基礎 I	1	1					
	情報基礎 II	1	1					
	経済学概論 I #	1		1				
	経済学概論 II #	1		1				
	物流概論 I #	1		1				
	物流概論 II #	1		1				
	情報基礎 III	1		1				
	情報基礎 IV	1		1				
	原価企画論 I #	1			1			
	原価企画論 II #	1			1			
	管理会計論 I #	1			1			
	管理会計論 II #	1			1			
	法学概論 I #	1			1			
	法学概論 II #	1			1			
	環日本海社会経済史 I	1			1			
	環日本海社会経済史 II	1			1			
	英語演習 I	1			1			
	英語演習 II	1			1			
	環日本海諸国語演習 I (中国語)	1			1			
	環日本海諸国語演習 I (韓国語)	1			1			
	環日本海諸国語演習 I (ロシア語)	1			1			
	環日本海諸国語演習 II (中国語)	1			1			
	環日本海諸国語演習 II (韓国語)	1			1			
	環日本海諸国語演習 II (ロシア語)	1			1			
	経営組織論 I #	1				1		
	経営組織論 II #	1				1		
	民法 I #	1				1		
	民法 II #	1				1		
	経営情報報 I #	1				1		
	経営情報報 II #	1				1		
	マーケティング論 #	2				2		
	物流管理論 #	2				2		
	物流通論 #	2				2		
	環日本海社会経済史 III	1				1		
	環日本海社会経済史 IV	1				1		
	ビジネス英語 I	2				2		
	時事英語講読	2				2		
	環日本海諸国語演習 III (中国語)	2				2		
	環日本海諸国語演習 III (韓国語)	2				2		
	環日本海諸国語演習 III (ロシア語)	2				2		
	環日本海諸国語表現 I (中国語)	2				2		
	環日本海諸国語表現 I (韓国語)	2				2		
	環日本海諸国語表現 I (ロシア語)	2				2		
	環日本海諸国語表現 II (中国語)	2				2		
	環日本海諸国語表現 II (韓国語)	2				2		
環日本海諸国語表現 II (ロシア語)	2				2			
環日本海諸国語表現 III (中国語)	2				2			
環日本海諸国語表現 III (韓国語)	2				2			
環日本海諸国語表現 III (ロシア語)	2				2			
経営戦略論 I #	1					1		
経営戦略論 II #	1					1		
マーケティング戦略論 #	2					2		
国際ビジネス論 #	2					2		
データベース論 #	2					2		
雇用関係法 I #	1					1		
雇用関係法 II #	1					1		
国際関係概論	2					2		
国際物流論	2					2		
金融論	2					2		
異文化コミュニケーション論	2					2		
ビジネス英語演習 I	1					1		
ビジネス英語演習 II	1					1		
ビジネス環日本海諸国語 (中国語)	2					2		
ビジネス環日本海諸国語 (韓国語)	2					2		
ビジネス環日本海諸国語 (ロシア語)	2					2		
英語圏異文化実習	3			3				
環日本海諸国異文化実習	3				3			
インターシップ	2					2		
修得すべき単位数	82単位以上							

# は必修科目とする。

## 活躍の舞台は大海原 世界の海で人々の暮らしを支える

「航海コース」と「機関コース」からなる複合学科で、海や船に関する様々な知識や技術について学び、世界で活躍する船舶職員（航海士や機関士）を目指します。教室での授業のほか、シミュレータや本校練習船での実習によって、船舶運航の理論や基礎技術を学びます。また、のべ1年間の大型練習船実習では、実践的な技術を身につけながら、日本各地や海外にも寄港します。なお、修業年限は5年6か月となります。



### 商船学科 ■ 教育目標

船舶の運航や船用プラント運用に必要なシーマンシップを身に付けたグローバルな海技士を育成します。

海洋をフィールドとしてシステムの開発・構築・管理ができる技術者を育成します。

海洋環境を地球規模の視点で考えられるスペシャリストを育成します。



# Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
航海・機関 共通科目	必修科目	データサイエンスⅠ	1	1				
		データサイエンスⅡ	1	1				
		機関概論A	1	1				
		機関概論B	1	1				
		海洋基礎実習	1	1				
		航海概論A	1	1				
		校内練習船実習A	1	1				
		航海概論B	1		1			
		電気・電子工学A	1		1			
		電気・電子工学B	1		1			
		船舶基礎力学A	1		1			
		船舶基礎力学B	1		1			
		キャリアデザイン	1		1			
		校内練習船実習B	1		1			
		船舶安全学A	1			1		
		船舶安全学B	1			1		
		電気・電子工学C	1			1		
		電気・電子工学D	1			1		
		実験実習A	4			4		
		校内練習船実習C	1			1		
		AI・MOTⅠ	1				1	
		船舶海洋工学	2				2	
		海事法A	1				1	
		海事応用数学	2				2	
		実験実習B	2				2	
		計測制御工学	2					2
	流体力学	2					2	
	海事法B	1					1	
	実験実習C	2					2	
	卒業研究	7					7	
	校内練習船実習D	1					1	
	計	46		7	7	9	8	15
	選択科目	インターシッフ	2				2	
国際海事実習		3			3			
航海コース	必修科目	運用概論A	1			1		
		運用概論B	1			1		
		航海測位論A	1			1		
		航海測位論B	1			1		
		船体管理論A	1			1		
		船体管理論B	1			1		
		航海学ゼミナールA	1			1		
		航海法機器A	1			1		
		航海英語A	1			1		
		航海測位論C	2				2	
		海上交通法	2				2	
		航海英語B	1				1	
		航海情報システム演習	1				1	
		航海学ゼミナールB	1				1	
		航海法機器B	2					2
		船体運動学	2					2
		海洋気象学	2					2
		海上運送論	2					2
		海洋科学	1					1
	計	25			9	7	9	
選択科目	海事政策論	1					1	
機関コース	必修科目	機械加工実習	2			2		
		内燃機関工学A	1			1		
		内燃機関工学B	1			1		
		工業熱力学A	1			1		
		工業熱力学B	1			1		
		材料力学A	1			1		
		材料力学B	1			1		
		機関英語A	1			1		
		内燃機関学	2				2	
		蒸気工学	1				1	
		電機システム	2				2	
		設計製図A	1				1	
		機関学ゼミナール	1				1	
		蒸気・ガスタービン	2					2
		船用補助機械工学	2					2
		材料学	2					2
	設計製図B	2					2	
機関英語B	1					1		
計	25			9	7	9		
選択科目	商船運航実務	1					1	
修得すべき単位数		62単位以上						

# 一般教養科

一般教養科には、各分野の一般科目を担当する専任教員を配置し、社会人として必要な教養と専門分野の知識・技術を修得するために必要な基礎学力を育成します。

## Curriculum

機械システム工学科・電気制御システム工学科

## Curriculum

物質化学工学科

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修 自然	基礎数学 A I	2	2					
	基礎数学 A II	2	2					
	基礎数学 B I	1	1					
	基礎数学 B II	1	1					
	物理学 I A	1	1					
	物理学 I B	1	1					
	計	8	8					
人文・社会	総合国語 I A #	2	2					
	総合国語 I B #	1	1					
	総合国語 II A #	1		1				
	総合国語 II B #	1		1				
	総合国語 III A #	1			1			
	総合国語 III B #	1			1			
	国語表現	1				1		
	日本語と文化	2					2	
	地理	2	2					
	歴史 I #	2		2				
	歴史 II #	2			2			
	公共社会論 #	1				1		
	比較社会文化論	1				1		
	思想文化論	1				1		
現代産業論	1				1			
選自 理科	基礎数学 C #	1	1					
	微分積分学 I #	2		2				
	微分積分学 II #	2		2				
	線形代数 I #	1		1				
	線形代数 II #	1		1				
	解析学 I #	2			2			
	解析学 II #	2			2			
	総合数学 #	1			1			
	確率と統計 #	1			1			
	物理学 II A #	1		1				
	物理学 II B #	1		1				
	物理学 III #	1			1			
	化学 I A #	1	1					
	化学 I B #	1	1					
化学 II A #	1		1					
化学 II B #	1		1					
保・体 目	保健 #	1	1					
	体育 I #	2	2					
	体育 II #	2		2				
	体育 III #	2			2			
	体育 IV	1				1		
体育 V	1					1		
芸術	音楽	1	1					
	美術	1	1					
	書道	1	1					
外国語	総合英語 I #	3	3					
	総合英語 II #	3		3				
	総合英語 III #	2			2			
	総合英語 IV #	2				2		
	総合英語 V #	2					2	
	総合英語 VI	2						2
	英語表現 I #	2	2					
	英語表現 II #	2		2				
	英語表現 III #	2			2			
	英会話 I #	1	1					
	英会話 II #	1		1				
	英語演習 I	2				2		
英語演習 II	2				2			
英語圏異文化実習	3					3		
修得すべき単位数			75単位以上					

# は必修科目とする。

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修 自然	基礎数学 A I	2	2					
	基礎数学 A II	2	2					
	基礎数学 B I	1	1					
	基礎数学 B II	1	1					
	化学 I A	2	2					
	化学 I B	1	1					
	計	9	9					
人文・社会	総合国語 I A #	2	2					
	総合国語 I B #	1	1					
	総合国語 II A #	1		1				
	総合国語 II B #	1		1				
	総合国語 III A #	1			1			
	総合国語 III B #	1			1			
	国語表現	1				1		
	日本語と文化	2					2	
	地理	2	2					
	歴史 I #	2		2				
	歴史 II #	2			2			
	公共社会論 #	1				1		
	比較社会文化論	1				1		
	思想文化論	1				1		
現代産業論	1				1			
選自 理科	基礎数学 C #	1	1					
	微分積分学 I #	2		2				
	微分積分学 II #	2		2				
	線形代数 I #	1		1				
	線形代数 II #	1		1				
	解析学 I #	2			2			
	解析学 II #	2			2			
	総合数学 #	1			1			
	確率と統計 #	1			1			
	物理学 I A #	1	1					
	物理学 I B #	1	1					
	物理学 II A #	1		1				
	物理学 II B #	1		1				
	物理学 III #	1			1			
化学 II A #	1		1					
化学 II B #	1		1					
保・体 目	保健 #	1	1					
	体育 I #	2	2					
	体育 II #	2		2				
	体育 III #	2			2			
	体育 IV	1				1		
体育 V	1					1		
芸術	音楽	1	1					
	美術	1	1					
	書道	1	1					
外国語	総合英語 I #	3	3					
	総合英語 II #	3		3				
	総合英語 III #	2			2			
	総合英語 IV #	2				2		
	総合英語 V #	2					2	
	総合英語 VI	2						2
	英語表現 I #	2	2					
	英語表現 II #	2		2				
	英語表現 III #	2			2			
	英会話 I #	1	1					
	英会話 II #	1		1				
	英語演習 I	2				2		
英語演習 II	2				2			
英語圏異文化実習	3					3		
修得すべき単位数			75単位以上					

# Curriculum

電子情報工学科

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	基礎数学 A I	2	2						
	基礎数学 A II	2	2						
	基礎数学 B I	1	1						
	基礎数学 B II	1	1						
	物理学 I A	1	1						
	物理学 I B	1	1						
	計	8	8						
人文・社会	総合国語 I A1 #	1	1						
	総合国語 I A2 #	1	1						
	総合国語 I B #	1	1						
	総合国語 II A #	1		1					
	総合国語 II B #	1		1					
	総合国語 III A #	1			1				
	総合国語 III B #	1			1				
	国語表現 I	1				1			
	日本語と文化	2					2		
	地理 #	2	2						
	歴史 I #	2		2					
	歴史 II #	2			2				
	公共社会論 #	1				1			
	比較社会文化論	1				1			
	思想文化論	1				1			
	現代産業論	1				1			
	選自	基礎数学 C #	1	1					
		微分積分学 I #	2		2				
		微分積分学 II #	2		2				
		線形代数 I #	1		1				
		線形代数 II #	1		1				
		解析学 I #	2			2			
		解析学 II #	2			2			
		総合数学 #	1			1			
		確率と統計 #	1			1			
数学特講 I		1				1			
数学特講 II		1				1			
物理学 II A #		1		1					
物理学 II B #		1		1					
物理学 III #		1			1				
化学 I A #		1	1						
化学 I B #		1	1						
化学 II A #		1		1					
化学 II B #		1		1					
基礎科学実験 #		1		1					
保・体	保健 #	1	1						
	体育 I #	2	2						
	体育 II #	2		2					
	体育 III #	2			2				
	体育 IV	1				1			
	体育 V	1					1		
	音楽	1	1						
	美術	1	1						
	書道	1	1						
	外国語	総合英語 I #	3	3					
総合英語 II #		3		3					
総合英語 III #		2			2				
総合英語 IV #		2				2			
総合英語 V #		2				2			
総合英語 VI		2					2		
英語表現 I #		2	2						
英語表現 II #		2		2					
英語表現 III #		2			2				
英会話 I #		1	1						
英会話 II #		1		1					
英語演習 I		2				2			
英語演習 II		2				2			
環日本海諸国語 I (中国語)		1				1			
環日本海諸国語 I (ロシア語)		1				1			
環日本海諸国語 II (中国語)		1				1			
環日本海諸国語 II (ロシア語)		1				1			
英語圏異文化実習		3					3		
		修得すべき単位数	75	75					

# は必修科目とする。

# Curriculum

商船学科

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	基礎数学 A I	2	2						
	基礎数学 A II	2	2						
	基礎数学 B I	1	1						
	基礎数学 B II	1	1						
	物理学 I A	1	1						
	物理学 I B	1	1						
	総合英語 IV	2				2			
	計	10	8				2		
人文・社会	総合国語 I A1 #	1	1						
	総合国語 I A2 #	1	1						
	総合国語 I B #	1	1						
	総合国語 II A #	1		1					
	総合国語 II B #	1		1					
	総合国語 III A #	1			1				
	総合国語 III B #	1			1				
	国語表現 I	1				1			
	日本語と文化	2					2		
	地理 #	2	2						
	歴史 I #	2		2					
	歴史 II #	2			2				
	公共社会論 #	1				1			
	比較社会文化論	1				1			
	思想文化論	1				1			
	現代産業論	1				1			
	選自	微分積分学 I #	2		2				
		微分積分学 II #	2		2				
		線形代数 I #	1		1				
		線形代数 II #	1		1				
		解析学 I #	2			2			
		解析学 II #	2			2			
		総合数学 #	1			1			
		確率と統計 #	1			1			
		物理学 II A #	1		1				
物理学 II B #		1		1					
物理学 III #		1			1				
化学 I A #		1	1						
化学 I B #		1	1						
化学 II A #		1		1					
化学 II B #		1		1					
基礎科学実験 #		1		1					
体育 I #		2	2						
体育 II #		2		2					
体育 III #		2			2				
体育 IV	1				1				
音楽	1	1							
美術	1	1							
書道	1	1							
外国語	総合英語 I #	3	3						
	総合英語 II #	3		3					
	総合英語 III #	2			2				
	総合英語 V	2				2			
	総合英語 VI	2					2		
	英語表現 I #	2	2						
	英語表現 II #	2		2					
	英語表現 III #	2			2				
	英会話 I #	1	1						
	英会話 II #	1		1					
英語演習 I	2				2				
英語演習 II	2				2				
環日本海諸国語 I (中国語)	1				1				
環日本海諸国語 I (ロシア語)	1				1				
環日本海諸国語 II (中国語)	1				1				
環日本海諸国語 II (ロシア語)	1				1				
英語圏異文化実習	3					3			
	修得すべき単位数	75	75						



## 4 専攻科紹介

専攻科は、工学系のエコデザイン工学専攻及び制御情報システム工学専攻、人文社会系の国際ビジネス学専攻、商船系の海事システム工学専攻から成り、幅広い豊かな教養と高度な専門的知識を有する人材を育成します。

### ■エコデザイン工学専攻

全ての技術は環境に配慮しなければならないという背景のもと、本専攻では、エンジニアに必要な工学全般の基礎知識と優れた技術に関する基礎的能力とともに、環境に配慮した技術、すなわちエコテクノロジーを使う能力を身につかせ、人・地球との共生の精神を有したグローバルエンジニアとしての役割を理解し、説明できる人材を育成します。

### Curriculum 専門科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当 ※1				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
共通科目	計測・制御	2	2				
	プログラミング工学	2		2			
	生物工学	2				2	
	力学基礎	2		2			
	工学倫理	2	2				
	技術と環境	2			2		
	環境工学	2				2	
	工業数学	2	2				
	MOT入門	2		2			
	インターシップA	2or3		2or3			
	インターシップB	2or3		2or3			
	エコデザイン工学特論	2				2	
	特別演習	2	2				
地域産業学	2		2				
共通科目開設単位計		28~30	8	12~14	2	6	
専門科目	エコデザイン工学特別研究Ⅰ	9	2	2	5		
	エコデザイン工学特別研究Ⅱ	5				5	
	材料工学特論	2		2			
	振動工学特論	2	2				
	シミュレーション工学特論	2	2				
	流体工学特論	2	2				
	材料機能システム論	2		2			
	精密加工学	2		2			
	熱工学特論	2		2			
	応用システム特論	2		2			
	生産加工学	2			2		
	数値解析	2			2		
	電気回路特論	2	2				
	ロボット工学特論	2	2				
	知的信号処理特論	2	2				
	エネルギー論	2	2				
	電磁波工学	2		2			
	パワーエレクトロニクス特論	2		2			
	エコ電力システム工学特論	2		2			
	電子物性論	2			2		
	薄膜工学	2				2	
	物理化学特論	2	2				
	無機材料特論	2	2				
	複合材料工学	2	2				
	機能性高分子材料	2		2			
	材料機能特論	2		2			
	エコマテリアル特論	2		2			
	精密有機合成化学	2			2		
	生体物質機能概論	2			2		
	食品化学工学	2				2	
	機器分析論	2				2	
	電磁波工学特論	2			2		※2
	専攻科目開設単位計		74	22	24	17	11
専門科目開設科目単位計		102~104	30	36~38	19	17	
修得単位			専門科目として54単位以上修得				
一般・専門科目 開設単位 合計		118~120	34	40~42	23	21	
一般・専門科目 修得単位 合計			62単位以上修得				

※1 科目担当教員が認めた場合に限り、在籍学年と異なる学年に開講される授業科目を履修することができる

※2 制御情報システム工学専攻との合同開講科目

## ■ 制御情報システム工学専攻

ソフトウェア、電気電子、ネットワークの技術を身に付け、これらを有機的に結びつけたシステムを設計できるプロフェッショナルエンジニアを育成します。

### Curriculum 専門科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当 ※1				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
専 門 共 通 科 目	技術者倫理・企業倫理	2				2	
	技術英語	2		2			
	応用数学特論	2	2				
	応用物理学特論	2	2				
	数学・物理学演習	2		2			
	国際関係論	2				2	
	情報処理学	2	2				
	生産開発システム	2				2	
	インターンシップA(国内)	2	2				
	インターンシップB(国外)	3	3				
	技術経営(MOT)論	2	2				
	港湾実務	2			2		
	港湾物流	2			2		
	地球科学概論	2				2	
	衝撃工学	2	2				
地域産業学	2		2				
専門共通科目開設単位数	33	15	6	4	8		
専 門 専 攻 科 目	制御情報システム工学特別研究Ⅰ	9	2	2	5		
	制御情報システム工学特別研究Ⅱ	5				5	
	制御情報システム工学実験	4	2	2			
	制御情報システム工学演習	4	2	2			
	オブジェクト指向プログラミング	2		2			
	計測制御システム工学	2		2			
	量子エレクトロニクス	2	2				
	通信工学特論	2	2				
	電磁波工学特論	2			2		
	生体情報工学	2			2		
	計算工学特論	2		2			
	ネットワークシステム工学	2			2		
	知能情報処理工学	2		2			
	電子物性論	2			2		※2
	専門専攻科目開設単位数	42	10	14	13	5	
専門科目開設単位数計	75	25	20	17	13		
一般・専門科目単位数計	91	29	22	21	19		
修得単位数合計		62単位以上					

## ■ 国際ビジネス学専攻

経営学に関する高度な専門的知識とビジネスに関する実践的な能力を併せ持ち、環日本海地域ビジネスに関わるコーディネーター、プロジェクトマネージャーを育成します。

### Curriculum 専門科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当 ※1				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
専 門 共 通 科 目	技術者倫理・企業倫理	2				2	
	技術英語	2		2			
	応用数学特論	2	2				
	応用物理学特論	2	2				
	数学・物理学演習	2		2			
	国際関係論	2				2	
	情報処理学	2	2				
	技術経営(MOT)論	2	2				
	インターンシップA(国内)	2	2				
	インターンシップB(国外)	3	3				
	生産開発システム	2				2	
	港湾実務	2			2		
	港湾物流	2			2		
	地球科学概論	2				2	
	衝撃工学	2	2				
地域産業学	2		2				
専門共通科目開設単位数	33	15	6	4	8		
専 門 専 攻 科 目	国際ビジネス学特別研究Ⅰ	12	4	4	4		
	国際ビジネス学特別研究Ⅱ	4				4	
	経営管理特論	2	2				
	環日本海ビジネス事情	2	2				
	環日本海ビジネス演習	2		2			
	数理意思決定論	2			2		
	製品開発論	2		2			
	ビジネス会計論	2			2		
	応用情報処理論	2			2		
	商業英語	2		2			
	経営システム分析論	2		2			
	経営システム科学論	2				2	
	地域経営特論	2	2				
	ビジネス創造論	2	2				
	企業論特論	2		2			
国際ビジネス外書講読	2		2				
企業と雇用Ⅰ	2	2					
企業と雇用Ⅱ	2		2				
地域イノベーション論	2				2		
経営戦略特論	2		2				
専門専攻科目開設単位数	52	14	20	10	8		
専門科目開設単位数計	85	29	26	14	16		
一般・専門科目単位数計	101	33	28	18	22		
修得単位数合計		62単位以上					

※1 科目担当教員が認めた場合に限り、在籍学年と異なる学年に開講される授業科目を履修することができる  
 ※2 エコデザイン工学専攻との合同開講科目

## ■ 海事システム工学専攻

船舶運航及びこれを支える海事技術を深く体系的に学び、船舶や船用機器、物流に関する新しいシステムを創成できる人材を育成します。

### Curriculum 専門科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当※				備考	
			1年		2年			
			学期D	学期A	学期B	学期C		
専門科目	技術者倫理・企業倫理	2	2					
	技術英語	2		2				
	応用数学特論	2		2				
	応用物理学特論	2		2				
	数学・物理学演習	2		2				
	国際関係論	2		2				
	情報処理学	2	2					
	生産開発システム	2	2					
	インターンシップA(国内)	2		2				
	インターンシップB(国外)	3		3				
	港湾実務	2			2			
	港湾物流	2			2			
	地球科学概論	2	2					
	技術経営(MOT)論	2		2				
	衝撃工学	2		2				
	地域産業学	2	2					
	専門共通科目開設単位数	33	8	15	6	4		
	専門科目	海事システム工学特別研究Ⅰ	9	2	2	5		
		海事システム工学特別研究Ⅱ	5			5		
海事システム工学実験		4	2	2				
海事システム工学演習		4	2	2				
船用制御システム		2		2				
ナビゲーション・システム		2		2				
輸送機器デザイン		2		2				
海洋施設環境・情報工学		2		2				
熱機関工学特論		2	2					
タービン特論		2		2				
海事安全学特論		2		2				
専門科目	流体工学特論	2		2				
	海上労働法	2		2				
	伝熱工学特論	2	2					
	専門専攻科目開設単位数	42	10	14	13	5		
	専門科目開設単位数計	75	18	29	19	9		
	一般・専門科目単位数計	91	24	33	21	13		
	修得単位数合計			62単位以上				

## ■ 専攻別一般科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当※				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
エコデザイン工学専攻	言語と文化	2				2	
	歴史と文化	2				2	
	思想と文化	2			2		
	環境社会学	2			2		
	英語Ⅰ	2	2				
	英語Ⅱ	2		2			
	英語コミュニケーションⅠ	2	2				
英語コミュニケーションⅡ	2		2				
一般科目開設単位小計		16	4	4	4	4	
修得単位		一般科目として8単位以上修得					

区分	授業科目	単位数	学年別配当※				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
制御情報システム工学専攻	英語特論Ⅰ	2	2				
	英語特論Ⅱ	2		2			
	応用英語	2	2				
	日本語・日本文学	2			2		
	地域社会研究	2			2		
	健康科学	2				2	
	産業特論	2			2		
環日本海文化論	2				2		
一般科目開設単位数		16	4	2	4	6	

区分	授業科目	単位数	学年別配当※				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
国際ビジネス学専攻	英語特論Ⅰ	2	2				
	英語特論Ⅱ	2		2			
	応用英語	2	2				
	日本語・日本文学	2			2		
	地域社会研究	2			2		
	健康科学	2				2	
	産業特論	2			2		
環日本海文化論	2				2		
一般科目開設単位数		16	4	2	4	6	

区分	授業科目	単位数	学年別配当※				備考
			1年		2年		
			学期D	学期A	学期B	学期C	
海事システム工学専攻	英語特論Ⅰ	2		2			
	英語特論Ⅱ	2			2		
	応用英語	2		2			
	日本語・日本文学	2	2				
	地域社会研究	2			2		
	健康科学	2	2				
	産業特論	2			2		
環日本海文化論	2	2					
一般科目開設単位数		16	6	4	2	4	

※ 科目担当教員が認めた場合に限り、在籍学年と異なる学年に開講される授業科目を履修することができる

## 5 教員名簿

### 機械システム工学科

職名 Status	学位	氏名 Name	本年度担当科目
教授 Professor	博士(工学)	井上 誠 Inoue Makoto	鉄鋼材料, 安全工学 環境強度 I, 製造と加工 III
教授 Professor	博士(工学)	岡根 正樹 Okane Masaki	材料力学 I, II, III, 強度設計 工業力学 I, II, 応用物理 I b
教授 Professor	博士(工学)	佐瀬 直樹 Sase Naoki	メカトロニクス入門, 機構学 製造と加工 I, II, 機械設計 I
教授 Professor	博士(工学)	白川 英観 Shirakawa Hidemi	熱力学 I, 応用物理 流体工学 I, 応用数学 IV
教授 Professor	博士(工学)	高橋 勝彦 Takahashi Katsuhiko	製造と加工 II, 生産・品質管理 材料プロセス, 機械設計 II, 材料分析工学
教授 Professor	博士(工学)	吉川 文恵 Yoshikawa Fumie	エネルギー機械, 流体機械, 情報処理 情報処理, データサイエンス II
准教授 Associate Professor	博士(工学)	石黒 農 Ishiguro Minoru	実用技術英語 II, 情報処理 II シミュレーション工学, CAD工学
准教授 Associate Professor	博士(工学)	喜多 正雄 Kita Masao	基礎材料工学 I, II, 応用数学 III 材料物性 II, 反応熱力学
准教授 Associate Professor	博士(工学)	坂本 佳紀 Sakamoto Yoshinori	実用技術英語 I, 環境強度 II 材料物性 I, 応用プログラミング
准教授 Associate Professor	修士(工学)	増山 圭一 Masuyama Keiichi	機械製図 I, II, メカトロニクス I 材料強度学
准教授 Associate Professor	博士(工学)	山本 久嗣 Yamamoto Hisashi	流体工学 II, データサイエンス I 応用物理 II, 応用数学 I, II
講師 Lecturer	博士(工学)	田尻 智紀 Tajiri Tomoki	制御工学 I, II, メカトロニクス I 応用数学 I, 振動工学

### 電気制御システム工学科

職名 Status	学位	氏名 Name	本年度担当科目
教授 Professor	博士(工学)	佐藤 圭祐 Sato Keisuke	メカトロ創造設計 A I, A II, 計算機システム II 電気機械 I, II, 情報処理 I, II
教授 Professor	修士(工学)	古川 裕人 Furukawa Hiroto	電気回路 I, II, III 通信工学, 基礎電気工学
教授 Professor	博士(工学)	百生 登 Momose Noboru	熱力学 I, II, エネルギー力学 メカトロ基礎工学, 計測工学 II
准教授 Associate Professor	博士(工学)	井澤 正樹 Izawa Masaki	機械工作法, 工業力学, 設計製図 I, II ロボット工学, 制御工学 I, CAD/CAM工学
准教授 Associate Professor	博士(情報科学)	石田 文彦 Ishida Fumihiko	データサイエンス I, II, AI・MOT 計算機システム I, 数学特講 II
准教授 Associate Professor	博士(工学)	金子 慎一郎 Kaneko Shin-ichiro	ロボット工学 I, データサイエンス I コンピュータサイエンス, プログラミング学 I, II
准教授 Associate Professor	博士(工学)	北村 拓也 Kitamura Takuya	応用数学 III, プログラミング学 III 制御工学 II, ロボット工学 II
准教授 Associate Professor	博士(工学)	多田 和広 Tada Kazuhiro	電子回路 II, III, 電気材料 電子物性論, 電子工学 I
准教授 Associate Professor	博士(工学)	西島 健一 Nishijima Ken-ichi	パワーエレクトロニクス, 工業英語 I 応用数学 IV, システム工学
准教授 Associate Professor	博士(理学)	藤崎 明広 Fujisaki Akihiro	応用数学 I, II, 電気磁気学 I 応用物理 I, II, III, 信号処理工学 I



職名 Status	学位	氏名 Name	本年度担当科目
助教 Assistant Professor	博士(工学)	太田 守 Ota Mamoru	システム工学実験/情報システム実習 データサイエンスⅡ
助教 Assistant Professor	博士(工学)	吉田 晃基 Yoshida Koki	システム工学実験Ⅱ, データサイエンスⅡ 電気電子基礎, 電子回路Ⅰ, Ⅱ
嘱託教授 Professor	学士(工学)	浦風 和裕 Urakaze Kazuhiro	設計製図Ⅱ, Ⅲ, 機械力学Ⅰ, Ⅱ メカトロ創造設計BⅠ, BⅡ
嘱託教授 Professor	博士(工学)	柴田 博司 Shibata Hiroshi	シミュレーション工学 材料力学Ⅰ, Ⅱ, 材料学
嘱託教授 Professor	博士(工学)	西 敏行 Nishi Toshiyuki	電気磁気学Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ

## 物質化学工学科

職名 Status	学位	氏名 Name	本年度担当科目
教授 Professor	博士(工学)	河合 孝恵 Kawai Takae	物理化学Ⅰ, Ⅲ 情報処理Ⅱ
教授 Professor	博士(薬学)	後藤 道理 Goto Michimasa	生物化学Ⅰ, Ⅱ 薬理学, 生体触媒工学
教授 Professor	工学博士	高廣 政彦 Takahiro Masahiko	応用物理Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ 複合材料工学, 先端化学Ⅱ
教授 Professor	博士(工学)	袋布 昌幹 Tafu Masamoto	材料工学Ⅰ, 環境科学 エコマテリアル
教授 Professor	博士(理学)	津森 展子 Tsumori Nobuko	化学ⅠA, ⅠB, ⅡA, ⅡB 無機化学Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ, 無機工業化学
教授 Professor	博士(農学)	峰本 康正 Minemoto Yasumasa	化学工学Ⅱ, Ⅲ 応用数学Ⅰ, Ⅱ, 機器分析特論
准教授 Associate Professor	博士(工学)	迫野 奈緒美 Sakono Naomi	無機材料特論, 品質管理, 無機化学Ⅰ 物理化学Ⅱ, データサイエンスⅡ
准教授 Associate Professor	博士(農学)	篠崎 由紀子 Shinozaki Yukiko	分子生物学, 先端化学Ⅱ, 応用微生物学 生物工学, 安全工学, 遺伝子工学
准教授 Associate Professor	博士(工学)	高松 さおり Takamatsu Saori	分析化学実験, 分析化学Ⅱ 環境工学, 情報・技術者倫理入門
准教授 Associate Professor	博士(工学)	中島 栄次 Nakajima Eiji	基礎化学工学, 反応工学, 先端化学Ⅱ, CAD 化学工学Ⅰ, データサイエンスⅠ
准教授 Associate Professor	博士(マテリアルサイエンス)	福田 知博 Fukuda Tomohiro	有機化学Ⅰ, 分析化学Ⅰ 情報処理Ⅰ, 化学英語
准教授 Associate Professor	博士(工学)	間中 淳 Manaka Atsushi	
准教授 Associate Professor	博士(工学)	森 康貴 Mori Yasutaka	高分子化学Ⅰ, Ⅱ 材料工学Ⅱ, 先端化学Ⅰ
講師 Lecturer	博士(理学)	山岸 正和 Yamagishi Masakazu	機器分析Ⅰ, Ⅱ, 有機化学Ⅱ データサイエンスⅡ, 無機化学Ⅰ
嘱託教授 Professor	博士(工学)	川淵 浩之 Kawafuchi Hiroyuki	有機化学Ⅲ, Ⅳ, V 有機工業化学, 先端化学Ⅰ

## 電子情報工学科

職名 Status	学位	氏名 Name	本年度担当科目
教授 Professor	博士(理学)	阿蘇 司 Aso Tsukasa	情報ネットワークⅠ, Ⅱ, プログラミングⅢ 通信システムⅠ, Ⅱ, AI/MOT
教授 Professor	博士(工学)	小熊 博 Oguma Hiroshi	制御工学Ⅰ, Ⅱ, デジタル信号処理Ⅰ, Ⅱ 創造工学設計Ⅱ, データサイエンスⅡ
教授 Professor	博士(工学)	椎名 徹 Shiina Toru	メディア工学Ⅰ, Ⅱ, 電波工学 電気磁気学Ⅰ, Ⅱ
教授 Professor	博士(工学)	塚田 章 Tsukada Akira	電気回路Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ 生体情報工学
教授 Professor	博士(情報科学)	古山 彰一 Furuyama Shoichi	創造工学設計Ⅰ 数値計算, 計算工学Ⅰ, Ⅱ
教授 Professor	博士(工学)	水本 巖 Mizumoto Iwao	電子通信工学Ⅰ, Ⅱ, AI/MOT 応用電磁システム, センサ工学
教授 Professor	博士(工学)	由井 四海 Yoshii Yotsumi	量子エレクトロニクス, 応用物理Ⅰ, Ⅱ コンピュータ計測Ⅰ, Ⅱ, 電子デバイス
准教授 Associate Professor	博士(工学)	秋口 俊輔 Akiguchi Syunsuke	オペレーティングシステムⅠ, Ⅱ, プログラミングⅡ 知能情報処理工学, データサイエンスⅠ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	伊藤 尚 Ito Nao	応用物理Ⅲ, Ⅳ, 情報数学Ⅰ 電子回路Ⅲ, Ⅳ, 電子情報数学Ⅱ, Ⅲ
准教授 Associate Professor	修士(工学)	早勢 欣和 Hayase Yoshikazu	情報数学Ⅱ, データサイエンスⅠ ソフトウェア工学Ⅰ, Ⅱ, 情報理論
准教授 Associate Professor	博士(情報科学)	的場 隆一 Matoba Ryuichi	応用数学Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ, プログラミングⅠ 技術英語, データサイエンスⅡ
准教授 Associate Professor	修士(工学)	山口 晃史 Yamaguchi Akifumi	基礎電気Ⅰ, Ⅱ, 電子情報数学Ⅰ 電子システムⅠ, Ⅱ, 電子回路Ⅰ, Ⅱ
助教 Assistant Professor	博士(工学)	滝沢 雅明 Takizawa Masaaki	AI/MOT データサイエンスⅡ
助手 Research Associate	修士(工学)	門村 英城 Kadomura Hideki	アルゴリズムとデータ構造Ⅰ, Ⅱ プログラミングⅠ, Ⅱ, データサイエンスⅠ

## 国際ビジネス学科

職名 Status	学位	氏名 Name	本年度担当科目
教授 Professor	修士(学術)	海老原 毅 Ebihara Tsuyoshi	環日本海諸国語表現Ⅰ, Ⅱ(中国語) ビジネス環日本海諸国語(中国語)
教授 Professor	修士(文学)	岡本 勝規 Okamoto Katsunori	環日本海社会経済史Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ 国際関係概論Ⅰ, Ⅱ, データサイエンスⅠ
教授 Professor	博士(Ph.D.)	西原 雅博 Nishihara Masahiro	時事英語講読, 異文化コミュニケーション論 ビジネス英語演習Ⅰ, Ⅱ, ビジネス英語, 英語演習Ⅰ, Ⅱ
教授 Professor	修士(経営情報学)	長谷川 博 Hasegawa Hiroshi	会計学概論Ⅰ, Ⅱ, 工業会計論Ⅰ, Ⅱ 財務会計論Ⅰ, Ⅱ, 原価企画論Ⅰ, Ⅱ
教授 Professor	修士(経済学)	松原 義弘 Matsubara Yoshihiro	民法Ⅰ, Ⅱ, 経済学概論Ⅰ, Ⅱ 雇用関係法Ⅰ, Ⅱ, 法学概論Ⅰ
教授 Professor	博士(学術)	宮重 徹也 Miyashige Tetsuya	経営戦略論Ⅰ, Ⅱ, データサイエンスⅠ 経営管理論Ⅰ, Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(マネジメント)	塩見 浩介 Shiomi Kosuke	管理会計論Ⅰ, Ⅱ, 金融論 原価企画論Ⅰ, Ⅱ, データサイエンスⅠ
准教授 Associate Professor	博士(情報科学)	萩原 信吾 Hagiwara Shingo	経営情報Ⅰ, Ⅱ, 情報基礎Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ 経営科学Ⅰ, Ⅱ, データサイエンスⅠ, Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(言語文化学)	宮崎 衣澄 Miyazaki Izumi	環日本海諸国語表現Ⅰ(ロシア語), データサイエンスⅠ ビジネス環日本海諸国語(ロシア語), 時事環日本海諸国語(ロシア語)

職名 Status	学位	氏名 Name	本年度担当科目
准教授 Associate Professor	博士(工学)	村山 雅子 Murayama Masako	国際物流論Ⅰ, Ⅱ データサイエンスⅠ, Ⅱ, 物流概論Ⅰ, Ⅱ
助教 Assistant Professor	博士(経済学)	邢 雪歌 Xing Xuege	経済学概論Ⅰ, Ⅱ データサイエンスⅠ
助教 Assistant Professor	学 士	田 嶋 雄 太 Tajima Yuta	商学概論Ⅰ, Ⅱ, データサイエンスⅠ マーケティング論Ⅰ, Ⅱ, マーケティング戦略論

## ■商船学科

職名 Status	学位	氏名 Name	本年度担当科目
教授 Professor	博士(工学)	中谷 俊彦 Nakatani Toshihiko	航海概論A, B, 航海英語A 航海計測論Ⅰ, Ⅱ, 航海機器A, 航海海洋学Ⅲ
教授 Professor	博士(工学)	保前 友高 Homae Tomotaka	力学Ⅰ, Ⅱ, 船舶基礎力学A, B 材料力学A, B, 伝熱工学
教授 Professor	準学 士 一級海技士(機関)	松村 茂実 Matsumura Shigemi	蒸気原動機工学Ⅱ, Ⅲ 商船実務, 機関英語Ⅱ
教授 Professor	博士(理学)	向瀬 紀一郎 Mukose Kiichiro	船舶工学Ⅰ, Ⅱ, データサイエンスⅡ 応用数学Ⅰ, Ⅱ, 航海科学, 船体運動論
教授 Professor	博士(工学)	山本 桂一郎 Yamamoto Keiichiro	パワーエレクトロニクスⅠ, Ⅱ 生産システム工学, 電気・電子工学D
准教授 Associate Professor	博士(工学)	亀井 志聖 Kamei Shisei	船舶安全学A 運用概論A, B
准教授 Associate Professor	博士(工学) 三級海技士(機関)	経田 僚昭 Kyoden Tomoaki	工業熱力学A, B 工作実習, データサイエンスⅠ
准教授 Associate Professor	博士(理学)	福留 研一 Fukudome Ken-ichi	海洋気象論Ⅰ, Ⅱ, 流体工学Ⅰ, Ⅱ, 応用力学Ⅰ, Ⅱ 海洋科学概論, データサイエンスⅡ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	山田 圭祐 Yamada Keisuke	機関概論A 内燃機関工学Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ, A, B
講師 Lecturer	学 士(商船学) 一級海技士(機関)	小林 大 Kobayashi Dai	補助機械工学Ⅰ, Ⅱ, 機関英語A, 補助機械工学Ⅰ 機関概論B, データサイエンスⅠ
講師 Lecturer	修 士(海事科学) 三級海技士(航海)	西井 典子 Nishii Noriko	海上交通論Ⅰ, Ⅱ, 海運論, 海法特論 航海英語A, 船舶海洋学Ⅰ, Ⅲ
助教 Assistant Professor	博士(理学)	清野 義敬 Seino Yoshiaki	電気・電子工学A, B, C, 電気電子工学特論 計測・自動制御工学Ⅰ, Ⅱ
助教 Assistant Professor	修 士(海事科学) 一級海技士(航海)	布目 明弘 Nunome Akihiro	航海測位論B, Ⅲ, 船体管理論B 航海英語Ⅱ
嘱託教授 Professor	修 士(経済学) 一級海技士(航海)	笹谷 敬二 Sasaya Keiji	船舶安全学Ⅰ, Ⅱ, 航海測位論A 海事法Ⅰ, Ⅱ

### 練習船若潮丸

職名 Status	学位	氏名 Name	本年度担当科目
船長・准教授(特任教授) Captain	準学 士 二級海技士(航海)	金山 恵美 Kanayama Emi	校内練習船実習 実験実習Ⅱ, 船舶海洋学Ⅲ
機関長・准教授(特任教授) Chief Engineer	博士(工学) 一級海技士(機関)	山谷 尚弘 Yamatani Naohiro	校内練習船実習, 蒸気原動機工学Ⅰ 実験実習Ⅱ, 補助機械工学Ⅱ, 船舶機関実務
一等航海士・助教 Chief Officer	準学 士 三級海技士(航海)	森井 直人 Morii Naoto	運用概論A, B 実験実習A, Ⅱ
一等機関士・助教 First Engineer	準学 士 二級海技士(機関)	池野 一成 Ikeno Kazunari	設計製図Ⅰ, Ⅱ 実験実習Ⅱ

## ■一般教養科

[本郷キャンパス]

職名 Status	学位	氏名 Name	本年度担当科目
教授 Professor	修士 (TESOL)	青山 晶子 Aoyama Akiko	英語表現Ⅰ, Ⅱ, 総合英語Ⅳ, Ⅴ 英語コミュニケーションⅠ, Ⅱ
教授 Professor	博士 (学術)	足立 蘭子 Adachi Mayuko	総合国語ⅡA, ⅡB, ⅢA, ⅢB 日本語と文化, 国語表現
教授 Professor	修士 (文学)	高越 義一 Takagoshi Yoshikazu	総合英語Ⅰ 英語演習Ⅲ, 英語Ⅱ
教授 Professor	修士 (体育学)	日比 端洋 Hibi Naohiro	体育Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅴ
教授 Professor	文学修士	宮崎 真矢 Miyazaki Shinya	地理, 哲学Ⅰ, Ⅱ 政治・経済, 思想と文化
教授 Professor	修士 (農学)	森田 康文 Morita Yasufumi	化学ⅠA, ⅠB, ⅡA, ⅡB 生物学, 基礎生物化学
准教授 Associate Professor	博士 (理学)	笠谷 昌弘 Kasatani Masahiro	基礎数学C 総合数学, 解析学Ⅰ, Ⅱ
准教授 Associate Professor	修士 (学術)	紙谷 智 Kamiya Satoshi	英語演習Ⅰ, Ⅱ 総合英語Ⅱ, 英語Ⅰ
准教授 Associate Professor	修士 (工学)	河原 治 Kawahara Osamu	基礎数学AⅠ, AⅡ 基礎数学C, 総合数学
講師 Lecturer	博士 (史学)	横山 恭子 Yokoyama Kyoko	歴史Ⅰ, Ⅱ, 政治・経済 歴史学Ⅰ, Ⅱ, 歴史と文化
助教 Assistant Professor	博士 (文学)	加島 正浩 Kashima Masahiro	総合国語ⅠA, ⅠB, ⅢA, ⅢB 国語表現, 日本語と文化
助教 Assistant Professor	博士 (理学)	加藤 正輝 Kato Masaki	基礎数学C, 微分積分学Ⅰ, Ⅱ 総合数学
助教 Assistant Professor	博士 (文学)	陳 璐 Chen Lu	英語表現Ⅱ, 英語演習Ⅰ, Ⅱ 総合英語Ⅲ
助教 Assistant Professor	修士 (スポーツ科学)	中村 祐太郎 Nakamura Yutaro	体育Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ 保健
嘱託教授 Professor	博士 (理学)	山腰 等 Yamakoshi Hitoshi	物理学ⅠA, ⅠB, Ⅲ

[射水キャンパス]

職名 Status	学位	氏名 Name	本年度担当科目
教授 Professor	博士(理学)	寺崎 由紀子 Terasaki Yukiko	化学ⅠA, ⅠB, ⅡA, ⅡB 理科ⅠA, ⅠB
教授 Professor	博士(工学)	星野 朱美 Hoshino Akemi	環日本海諸国語ⅠA, ⅡA(中国語) 環日本海諸国語ⅠB, ⅡB(中国語)
教授 Professor	修士(経済学) 修士(教育学)	横田 数弘 Yokota Kazuhiro	歴史Ⅰ, Ⅱ, 地域社会研究, 技術者倫理・企業倫理
准教授 Associate Professor	博士(理学)	大竹 由記子 Ohtake Yukiko	物理学ⅠA, ⅠB, ⅡA, ⅡB, Ⅲ 応用物理学特論
准教授 Associate Professor	修士(体育学)	大橋 千里 Ohashi Chisato	体育Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ, Ⅴ 健康科学, 保健
准教授 Associate Professor	修士(文学)	近藤 周吾 Kondo Shugo	言語学Ⅰ, Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(理学)	櫻井 秀人 Sakurai Hideto	基礎数学Ⅰ, Ⅱ, C, ⅠA, ⅠB, ⅡA, ⅡB 基礎数学ⅢA, ⅢB, 線形代数Ⅰ, Ⅱ, 解析学Ⅰ, Ⅱ
准教授 Associate Professor	修士(英語教育) MA(ELT)	山村 啓人 Yamamura Hiroto	総合英語Ⅱ, Ⅲ, 英語特論Ⅰ, Ⅱ, 英語表現Ⅰ, Ⅲ 英語演習Ⅰ, Ⅱ, 英会話Ⅳ, Ⅴ
准教授 Associate Professor	修士(学術)	山本 有希 Yamamoto Yuki	環日本海諸国語ⅠA~ⅣA, ⅠB~ⅣB, Ⅰ~Ⅲ, Ⅵ(ロシア語)
講師 Lecturer	博士(人文科学)	久保 陽子 Kubo Yoko	総合国語ⅠA1, ⅠA2, ⅠB, ⅡB, ⅢA, ⅢB 国語表現, 日本語・日本文学
講師 Lecturer	修士(教育学)	林 直人 Hayashi Naoto	体育Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ, Ⅴ
講師 Lecturer	博士(数理学)	吉田 学 Yoshida Manabu	基礎数学BⅠ, BⅡ, 総合数学 微分積分学Ⅰ, Ⅱ, 確率と統計
助教 Assistant Professor	修士(比較文化)	大畑 真也 Ohata Shinya	総合英語Ⅰ, Ⅱ 英語表現Ⅰ
特命准教授 Associate Professor	修士(文学)	河合 恒 Kawago Hisashi	日本語基礎文法Ⅰ, Ⅱ, 漢字Ⅰ, Ⅱ 科学技術日本語Ⅰ, Ⅱ, 日本事情Ⅰ, Ⅱ
特命助教 Assistant Professor	学 士	ケードブラポップ ピッチャー KERDPRAPHOB PITCHA	
特命助教 Assistant Professor	学 士	ブルボン チューリーコン POOLPOL CHULEEKORN	

## 6 ソリューションセンター

ソリューションセンターは、教職員の研究成果や実践的な技術開発力を活用して、企業や地方自治体と連携しながら、地域の産学連携を加速し、地域産業における技術的課題の解決を図ること、さらに地域の技術力の継承・発展、それを担う学生をはじめとする人材育成に貢献することを通して、地域の活性化に貢献することを目的として設置されているセンターです。

本校が位置する富山県は、日本海側最大規模の工業立県であり、本センターではこの地域環境を最大限に活かした、産学・地域連携の強化を進めています。具体的には地域産業等からの技術相談の対応、共同・受託研究の受入支援、さらには企業・地域との共同教育事業の企画実施を進め、共同研究等で得られた知的財産の管理・活用まで、地域との連携をワンストップで対応できる取り組みを進めています。事業推進のためにコーディネーターを校内に配置し、地域産業のニーズの発掘と本校のシーズとのマッチングに対する細やかな対応を行っています。

また、技術振興会会員企業等と協力し、地域産業との連携強化につながる取り組みを進めています。

これらの取り組みを通して、本校の教育・研究および地域産業がともに発展していくことを目指しています。



研究会における講演の様子



企業訪問による意見交換

## 7 研究高度化推進センター

研究高度化推進センターでは、教員の研究力を高め、それを教育に還元することにより、本校の研究・教育の高度化を実現することを目指しています。

科研費をはじめとした外部資金の増加を目的として、教員を対象とした講習会等を実施し、研究活動の支援を行っています。

他の研究機関や大学との連携を深め、最先端の研究開発を行うことにも取り組んでいます。長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学、他高専との間で実施している機器共用ネットワークに参画し、それぞれの機関が保有する共通機器を相互に利用することで、本校の枠組みを超えた研究・教育を実施しています。

また、国内外の連携機関から講師を招聘する特別講義・セミナー（研究推進フォーラム）を開催し、教員と専攻科生等学生が研究発表を行うことを通して、他の研究機関や大学等と本校との連携を深め、最先端の研究開発に取り組む雰囲気を醸成しております。

研究と教育を両輪と捉え、双方を高度化するための活動を今後も進めてまいります。



研究推進フォーラムでの講演



機器共用ネットワークの利用

## 8 国際教育センター

グローバル化によって、これまでに築いてきた社会システムも変化を余儀なくされています。日本企業は、内需減少や国際情勢の変化に対応するため、グローバル化を推し進めています。経済発展著しい新興国との間でビジネスを展開すること、未開拓の海外市場を開拓することが当たり前となっています。海外での事業所や製造拠点を設置し、運営することが必須となっています。グローバルな観点で地域社会をリードする人材が求められています。

このような状況の変化を受けて、全国の高専では、従来から取り組んできた創造的な技術者・ビジネスパーソンの育成に加え、国際性を培う教育に傾注してまいりました。この取り組みは、海外の異なる文化を持つ人々を理解し、双方向にコミュニケーションできる人材、協調しつつ自己の主張を明確に行うことのできる人材、持続可能な社会の発展に寄与できるグローバル人材を高専で育てていこうという試みです。もちろん、本校でも、次代のリーダーに相応しい、喫緊の課題に真正面から向き合うことのできる技術者やビジネスパーソンを育成していこうと、さまざまな活動を実施しています。

本校の国際教育センターは、このような活動を支援する拠点組織として整備され、意欲的な取り組みを行っています。世界的視野と国際社会に通用する国際性やコミュニケーション能力を持った学生を育成すること、教職員の国際性向上を図ることを目的に、教育や研究における一層の国際化を推進しています。語学教育の充実や、海外からの短期留学生の受入、日本人学生の語学研修や海外インターンシップへの支援を積極的に行っています。さらに、国際学術交流協定を締結した海外の大学や地域企業などと連携して、国際シンポジウムの開催、国際共同研究の実施も推進しています。当センターでは、地域に根ざしつつ、国際的な視野を持った専門性の高い人材の輩出に貢献したいと願っています。



タイ短期留学生のウェルカムパーティー開催

## 9 入試広報センター

入試広報センターは本校の広報全般、とりわけ本校志願者向けの入試広報活動を主目的として設置されているセンターです。

現在少子化が社会問題化しており、中学卒業人口も年々減少しています。そのような中、中学生、保護者、中学校教諭および社会に本校を広く正しく知っていただき、本校志願者数増加および本校のアドミッションポリシーに合致した入学生をより多く受け入れることを、本センターのミッションとしています。このようなミッションを達成すべく、中学生向け本校紹介パンフレット(カレッジガイド)の作成、夏季・秋季オープンキャンパス、進学個別相談会やオンライン・電話相談会などの運営、各中学校で開催される高校説明会への参加、学習塾が主催する進学説明イベントへの参加などを行っています。また、本校学生および保護者向けの活動として、高専通信の作成を行っています。また、本校の活動を広く県内外に知っていただくため、本校ホームページの管理運営などを行っています。



中学生とその保護者を対象とした学校説明会の様子

# 10 図書館情報センター

## ■ 図書館

図書館は、本郷、射水の両キャンパスにあり、本校学生・教職員の学習・教育・研究を支援しています。

本郷図書館には理学・工学系分野を中心に図書約79,000冊と雑誌約840種を、射水図書館には商船系、電子情報系、国際ビジネス系分野を中心に図書約82,000冊と雑誌約970種を備えています。各分野の専門書だけでなく幅広い分野の読み物や英語多読本、就職・進学のための資格試験問題集、さらにDVD等の視聴覚資料も利用することができます。このほか、学術データベースや電子ジャーナルを学内のパソコン等で利用できるよう整備しています。

また、一般の方々への開放も行っております。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開館時間やサービスを一部変更しています。

開館日程等

	本郷図書館	射水図書館
学業期間	月曜～金曜 8:30～21:00	月曜～金曜 8:30～19:00
	土曜 10:00～15:00 試験期間中 10:00～17:00	土曜 13:00～17:00
	休業期間	休業期間
休業期間	月曜～金曜 8:30～17:00	月曜～金曜 8:30～17:00
	土曜 休館	土曜 休館

## ■ 情報センター

情報センターは、本郷、射水の両キャンパスに設置されており、情報処理教育の導入から高度な専門教育、教員・学生の研究及び教職員の職務遂行等の支援を行うとともに、ネットワーク環境や情報サービスの提供を行っています。

また、共同利用施設として両キャンパスに合わせて7つの演習室があり、250台を超えるPC端末、学内ネットワーク及び学外ネットワーク（SINET）の管理運営も行っています。

情報センターは放課後も開放されており、全学科、全学年の学生が、課題の提出や卒業研究等のためにインターネットや電子メール、アプリケーションソフトの利用が可能です。

### 本郷キャンパス



図書館閲覧室



第1演習室



図書館情報センター外観

### 射水キャンパス



図書館閲覧室



第1情報演習室



図書館情報センター外観



# 11 船舶運航センター

船舶運航センターは、岸壁等施設や舟艇等設備の管理を行う「臨海実習場」と、船員養成のための実習訓練や研究支援、地域連携支援を行う「練習船 若潮丸」からなる組織です。また、富山県および射水市と災害時における被災者救援のための船舶運航についての協定を締結しています。

## 臨海実習場

敷地面積は11,232平方メートルで、建物として艇庫、臨海合宿研修所、油庫、検潮観測室、設備としてアンテナ塔、天井クレーン、150メートルの専用岸壁（練習船若潮丸を係留）、ポンド、浮棧橋などを備えています。

教育・研究に利用するほか、全校のカッターレース大会や、ヨット部、漕艇部（カッター部）などの課外活動に活用されています。また、地元地域の青少年や市民に開放する公開講座、企業や研究機関などの研究調査にも利用されています。

艇庫には小型舟艇の保管スペース、講義室および技業室が配置され、船舶職員として必要な技能訓練を行うほか、実習・訓練用機材や海洋観測機材を保管し、商船学科の教育・訓練に必要な模型なども陳列しています。



臨海実習場

所在地

〒933-0226 射水市堀江千石6番4

（現在地に平成27年3月13日移転）

射水キャンパスの西方3kmの富山新港（伏木富山新港新港地区）東端の、北陸電力 富山新港火力発電所の東端に位置しています。

## 臨海実習場の管理舟艇

### ・らいちょう（電池推進船）

主要寸法 : 全長9.95m 幅2.75m 総トン数6.0トン

速力 : 10.0ノット

最大搭載人員 : 船員2名 その他10名 計12名

就航年月日 : 令和4年5月24日

### ・その他

#### （実習艇）

ペガサス 全長6.27m 幅2.31m 総トン数1.3トン

いそなみ 全長5.35m 幅1.77m 総トン数0.5トン

#### （救助艇）

ちどり 全長3.78m 総トン数0.4トン

### ・わかしお3号（実習船）

主要寸法 : 全長8.93m 幅2.38m 総トン数2.8トン

連続最大出力 : 170kW

最大搭載人員 : 船員1名 その他8名 計9名

就航年月日 : 令和5年2月22日

### （全閉型救命艇）

ジュピター 全長5.74m 総トン数3.1トン

### （端艇）

9m カッター 3艇

## 練習船若潮丸

練習船 若潮丸は大型船と同等の運航システムを装備しており、商船学科学生の船舶職員養成に必要な航海実習を行うだけでなく、海洋気象観測の調査研究や他機関との共同研究を行っています。また、公開講座やオープンキャンパスを開催し、地域の市民の方々や子供たちの航海体験を通して、海の魅力と船舶の安全についての理解を深める活動を行っています。

船側外板のブルーラインは本州を、ブルーの突起が能登半島を意味し、船体中央に本校が位置する構図で船体を印象付けています。

資格 : 近海区域 第4種船  
主要寸法 : 全長53.59m 幅10.00m  
総トン数 : 231トン  
航海速力 : 12.50ノット  
航続距離 : 2,700海里  
主機関 : 中速ディーゼルエンジン  
1,300ps×390rpm 1基  
主機プロペラ 4翼可変ピッチ  
バウスラスター 1台  
スタンスラスター 1台  
最大搭載人員 : 乗組員9名 教員3名 学生44名 計56名  
竣工年月日 : 平成7年9月14日



練習船 若潮丸

# 12 学生生活

## 学校行事

- 4** ●入学式 ●クラブ紹介  
●新入生オリエンテーション

- 5** ●新入生研修  
●北斗祭（射水隔年）  
●球技大会

- 6** ●前期中間試験  
●北陸地区高専体育大会

- 7** ●カッターレース大会  
●前期末試験

- 8** ●夏季休業（～9月）  
●全国高専体育大会

- 9** ●県外工場見学（本郷）  
●商船学科卒業式

- 10** ●特別登校日（本郷）  
●県内工場見学・企業見学（射水）  
●ロボットコンテスト  
●球技大会

- 11** ●企業研究会  
●後期中間試験  
●志峰祭（本郷隔年）

- 12** ●冬季休業（～1月）

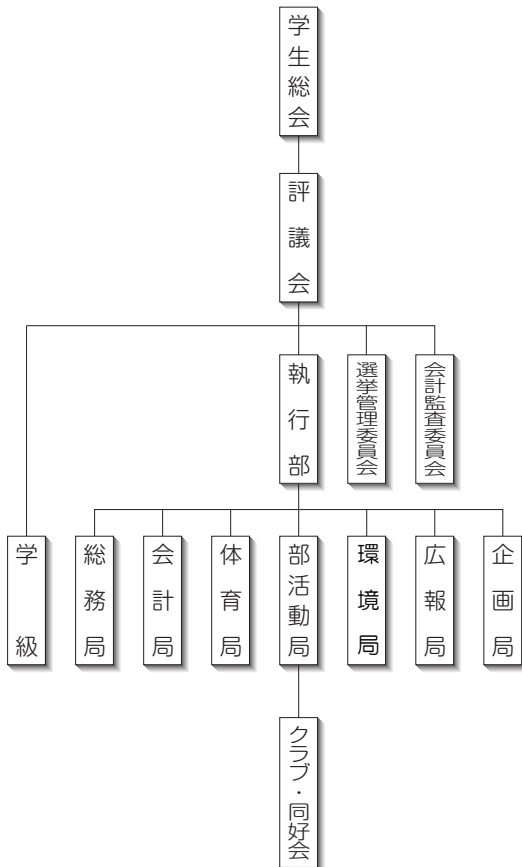
- 1** ●推薦入試

- 2** ●学力入試  
●学年末試験  
●卒業研究発表会

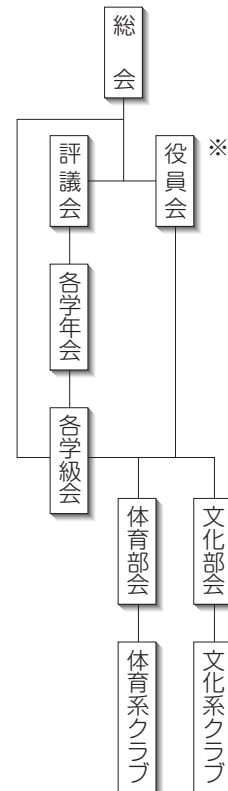
- 3** ●卒業式（商船学科を除く）

## 学生会組織図

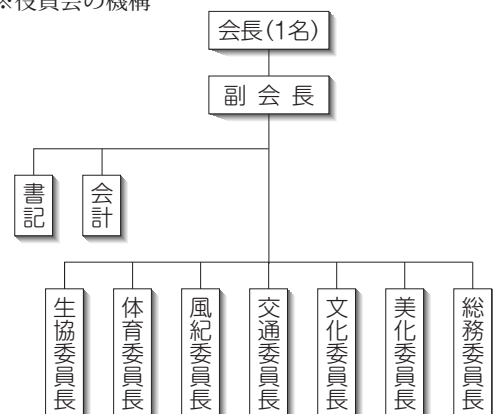
### 本郷キャンパス



### 射水キャンパス



※役員会の機構



## ■ クラブ活動

### 本郷キャンパス

#### 体育系クラブ

陸上競技  
サッカー  
野球  
柔道  
弓道  
剣道  
男子バレーボール  
バスケットボール  
ラグビー・フットボール  
バドミントン  
テニス  
ハンドボール  
水泳  
卓球

#### 体育系同好会

女子バレーボール

#### 文化系クラブ

吹奏楽  
メカテック  
茶道  
ピアノ  
芸術  
軽音楽  
囲碁・将棋  
鉄道  
知能プログラミング研究

### 射水キャンパス

#### 体育系クラブ

ヨット  
漕艇（カッター）  
陸上競技  
ラグビー  
男子バスケットボール  
女子バスケットボール  
バレーボール  
テニス  
野球  
サッカー  
バドミントン  
卓球  
剣道  
フリースタイルダンス  
水泳

#### 体育系同好会

柔道

#### 文化系クラブ

新聞  
デジタルメディア創作  
吹奏楽  
メカトロ技術研究

#### 文化系同好会

茶道  
軽音楽  
ESS  
美術  
日本舞踊  
文芸  
アントレプレナー研究  
機関学  
書道  
写真  
ボランティア



剣道



メカトロ技術研究



メカテック



漕艇（カッター）

## 福利厚生施設

### 本郷キャンパス

#### 学生ラウンジ・図書館前ロビー

図書館の1階にある学生ラウンジは、学生が勉強会をしたり、会議をしたり、セミナーを開いたりもできる多目的スペースです。このほかにも、図書館前ロビーなど、学生がゆったりとすごせるスペースも設けています。

#### 竹明館

福利施設である本館1階には食堂と生協売店があるほか、1階と2階の各室は、学生会活動等、課外活動の場として、有効に利用されています。

また、本施設とは別に、課外活動のための宿泊施設として合宿研修所があります。



学生ラウンジ



図書館前ロビー



竹明館

### 射水キャンパス

#### 奈呉の浦会館

本会館1階南側に100席の食堂と館内中央ホールの一 cornerに談話コーナー、2階には多目的集会室、研修室、学生会室、美術室及び16畳の大きな和室があり茶道等の課外活動の場として有効に利用されています。また、本会館隣接地には、生協売店が福利厚生の充実を目的に設置されており、快適な学生生活に寄与しています。



奈呉の浦会館前風景



売店



食堂

## ■ 学生相談室

学生相談室には、室長、並びに相談員（教職員）、看護師、カウンセラー（臨床心理士等）が配置されています。

学業・進路、友人関係、クラブなど学校生活に関する相談、精神衛生に関する相談、個人的な問題など、スタッフが学生と一緒に解決の方法を考えます。また、学生だけでなく保護者からの相談も受けつけています。

各キャンパスの相談室の開室時間は以下の通りです。



学生相談室（本郷キャンパス） 学生相談室（射水キャンパス）

本郷キャンパス			
学生相談室	月～金	相談員	15:30 - 17:00
	月・水・木	カウンセラー	13:00 - 17:00
	金	ソーシャルワーカー	13:00 - 17:00
保健室	月～金	看護師	8:30 - 17:00
射水キャンパス			
学生相談室	月～水・金	カウンセラー	13:00 - 17:00
	木	ソーシャルワーカー	13:00 - 17:00
保健室	月～金	看護師	8:30 - 17:00

## ■ 学生寮

学生の就学の便を図るため、学生寮を設置しています。本郷キャンパスでは「<sup>ぎょうがくりょう</sup>仰岳寮」、射水キャンパスでは「<sup>わかいりょう</sup>和海寮」と呼ばれ、それぞれのキャンパスの学生を受け入れています。

この学生寮は「教育寮」としての特徴を持ち、大学などの「任意寮」や下宿とは異なり、学生に生活の場を提供するだけでなく、本校教育の一環として、集団生活を通して社会の秩序と倫理を重んじる気風の醸成を目的としています。

また寮生相互の親睦を図るため、学生組織が主催する独自の年間行事が企画されています。それらを通して学生寮には、家庭にはない友人との語りや先輩・後輩の付き合いがあり、人と人との触れあいの場ともなっています。

近年では、設備の老朽化や国際交流の推進などの状況を踏まえ、学生寮の整備を計画的に行っており、令和3年度には仰岳寮4号館、令和4年度には和海寮第3寮棟の改修工事を実施しました。前者には長期留学生在が滞在しており、交流用のラウンジが設置され、また後者には「国際寮」として、ラーニングcommonsという日本人学生と留学生在が学び合う場が新設されました。

### 仰岳寮（本郷キャンパス）

令和5年5月1日現在

定員	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	合計
機械システム工学科		12(1)	12(1)	10(1)	3(1)	9(4)	46(8)
電気制御システム工学科		11(1)	9(1)《1》	12《1》	7《1》	10(1)	49(3)《3》
物質化学工学科		9(6)	9(2)《1》	11(7)《1》	9(7)《1》	11(4)《1》	49(26)《4》
エコデザイン工学専攻			1				1
合計		32(8)	31(4)《2》	33(8)《2》	19(8)《2》	30(9)《1》	145(37)《7》

( ) は女子、《 》 は留学生在で共に内数

### 和海寮（射水キャンパス）

令和5年5月1日現在

定員	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	合計
電子情報工学科		8(1)《3》	11(4)《1》	7(4)	9(2)	6(1)	41(12)《4》
国際ビジネス学科		13(8)	10(7)	9(5)	6(6)	10(10)	48(36)
商船学科		20(4)	15(6)	21(3)	25(4)	19(8)	100(25)
制御情報システム工学専攻							
国際ビジネス学専攻							
海事システム工学専攻							
合計		41(13)《3》	36(17)《1》	37(12)	40(12)	35(19)	189(73)《4》

( ) は女子、《 》 は留学生在で共に内数

## 13 地域社会との連携

### ■技術振興会

富山高等専門学校技術振興会は、本校を拠点とした研究交流を通じて、産学官協働による知的資源の創造と地域経済の活性化に資するとともに、本校の教育に関して必要な助成を行うことを目的に設立されました。現在、会員は企業会員293社、個人会員19名です。  
(令和5年5月1日現在)

設立の経緯は、平成17年8月に技術振興会発起人会が立ち上がり、同年10月に設立の運びとなりました。平成21年10月に高度化再編し富山高等専門学校となってから同年12月の総会で現在の形となりました。歴代の会長は次の方々です。

- 初代：田中 一郎 田中精密工業株式会社／代表取締役社長  
(任期：平成17年10月24日～平成19年10月31日)
- 第2代：宮野 兼美 立山マシン株式会社／代表取締役社長  
(任期：平成19年11月1日～平成21年12月13日)
- 第3代：河村 孝一 朝日印刷株式会社／代表取締役社長  
(任期：平成21年12月14日～平成23年10月27日)
- 第4代：松田 登 ファインネクス株式会社／代表取締役社長  
(任期：平成23年10月28日～平成25年10月31日)
- 第5代：藤堂 利一 藤堂工業株式会社／代表取締役社長  
(任期：平成25年11月1日～平成27年11月2日)
- 第6代：濱 尚 朝日印刷株式会社／代表取締役社長  
(任期：平成27年11月3日～令和元年11月1日)
- 第7代：石崎 大善 株式会社アイザック／代表取締役社長  
(任期：令和元年11月2日～現在)

技術振興会の事業として、会員企業向け事業の例を次に示します。

#### ●講演会等の開催

- ・田辺工業株式会社 富山営業所長 金内 康氏、株式会社アイパック 相談役 高見 貞徳氏、株式会社エーティーワークス 社長室 土田 満氏、トヤマ商事株式会社 代表取締役 森実 智洋氏による「富山高等専門学校技術振興会のこれまでとこれから」をテーマとしたパネルディスカッション（H30.10.26）を開催
- ・ガラス造形作家 小島 有香子 氏による「地域とアート」との演題で講演会（R1.11.1）を開催
- ・令和4年度富山高等専門学校技術振興会総会（R4.11.4）にて富山高等専門学校長による講演会

さらに、本校への技術振興会からの支援事業の例については次の通りです。

- 学生インターンシップ事業の支援
- キャリア教育・就職支援
- 会員企業と富山高専の学生との連携教育の実施（Ti-TEAM）
- 会員企業を富山高専の学生に紹介する企業研究会の開催
- 富山高専コーディネーターの産学官連携活動を支援
- 会員企業との共同研究に対する助成



講演会の様子



産学連携教育の様子

## 公開講座（令和4年度実施分）

講座名	開設分野	受講対象者	実施時期	募集人数
ロボットプログラミング体験 ロボットを思いのままに走らせよう！	機械系	小・中学生	令和4年8月5日～8月6日	20
未来をつかむ！空気圧を利用したロボットハンドを作ろう	機械系	小・中学生	令和4年8月5日～8月6日	15
卓上CNC加工機（レーザー加工機、CNCフライス）を用いて、コースターに刻印してみよう！	機械系	小・中学生	令和4年8月5日～8月6日	10
現実世界とコンピュータ世界をつなごう。「AR(拡張現実)プログラミング体験」	電気・電子系	小・中学生	令和4年8月5日～8月6日	15
マイコン付き電子回路の製作とプログラミング体験－ハードとソフトのエンジニア入門－	電気・電子系	小・中学生	令和4年8月5日～8月6日	15
実践体験！二足歩行ロボットのプログラミング	電気・電子系	小・中学生	令和4年8月5日～8月6日	20
色で判定！溶液中の金属イオン	物質系	小・中学生	令和4年8月5日～8月6日	16
細胞分裂期の染色体の観察	物質系	小・中学生	令和4年8月5日～8月6日	16
IoTによる電子工作・プログラミング体験	情報系	小・中学生	令和4年8月4日～8月6日	20
スマホアプリって自分で作れるの？	情報系	小・中学生	令和4年8月4日～8月6日	15
ロボットの頭脳とは－LEGOを使ったプログラミング実践－	情報系	小・中学生	令和4年8月4日～8月6日	20
異文化について学ぼう	人文系	小・中学生	令和4年8月4日～8月6日	40
電池推進船らいちょうと練習船若潮丸を見よう	商船系	小・中学生	令和4年8月4日	20
若潮丸に乗って船・港・海の仕事をみてみよう	商船系	小・中学生	令和4年8月5日～8月6日	20
ロシア語会話を体験してみよう！	人文系	小・中学生	令和4年8月4日	15
英語らしい発音に挑戦しよう	人文系	小・中学生	令和4年8月5日	40
集まれ！身近で活躍する機械・ロボットに興味がある生徒たち	機械系	小・中学生	令和4年10月29日～10月30日	20
AIってなんだろう？何が出来る？AI(人工知能)体験	電気・電子系	小・中学生	令和4年10月29日～10月30日	15
エレクトロニクスものづくりとプログラムの基礎体験～スマホの基礎技術を学んで遊ぼう～	電気・電子系	小・中学生	令和4年10月29日～10月30日	15
二足歩行ロボットから始めるロボット体験	電気・電子系	小・中学生	令和4年10月29日～10月30日	16
水蒸気蒸留で天然の匂い成分を取り出す	物質系	小・中学生	令和4年10月29日～10月30日	16
金が赤色に？！ナノ粒子を作ってみよう！	物質系	小・中学生	令和4年10月29日～10月30日	16
Webアプリケーションの作成体験！商品購入のWebページ作り／空中の電波を見よう！電池無しでLEDの点灯実験	情報系	小・中学生	令和4年10月29日～10月30日	20
異文化について学ぼう／ビジネスの学習を体験しよう	人文系	小・中学生	令和4年10月29日～10月30日	40
船の仕事を見てみよう 海と船と港を学ぶ	商船系	小・中学生	令和4年10月29日	40
What's a marine engineer!? / シミュレータで巨大船を動かそう 船の動きを学ぶ	商船系	小・中学生	令和4年10月30日	40

## 出前授業（令和4年度実施分）

講座名	開設分野	受講対象者	開設時期	受講可能人数
たまごを守れ！アイデア発明教室	機械系	小・中学生	通年	10～40
スクラッチで学ぶ初心者向けロボットプログラミング教室	機械系	小・中学生	通年	40
力を合わせて月面基地帰還を達成しよう！	機械系	中学生	通年	20
グーグルコロボトリーを用いたPythonプログラム入門	機械系	中学生	通年	20
タイタニックはなぜ沈んだのか。金属材料の性質	機械系	小・中学生	通年	40
電車はなぜ「ガタン、ゴトン」と走るのか。金属の熱膨張の可視化	機械系	小・中学生	通年	40
教科書では教えてくれない電気の秘密	電気・電子系	中学生	通年	15～20
LEGOを使ったロボットプログラミング実習	電気・電子系	小・中学生	通年	12以下
レーザーを使ってマイクロの世界を覗いてみよう	電気・電子系	小・中学生	通年	10～40
放射線の基礎と応用	電気・電子・情報系	中学生	通年	80
電源の基本と応用－ミニ新幹線の運転制御を通して学ぶ－	電気・電子系	中学生	通年	10
AIに触れてみよう	電気・電子系	小・中学生	通年	10
英語の教科書をもっと楽しもう	人文系	中学生	通年	40
タブレットを使って英語学習を楽しもう	人文系	小・中学生	通年	40
ロシアってどんな国？ロシア語で話してみよう！	人文系	小・中学生	通年	10～20
iPadを使ったプログラミング体験	電子・情報系	小・中学生	通年	40
海・船があってよかったと思うための授業	商船系	小・中学生	通年	40
練習船若潮丸 体験乗船	商船系	小・中学生	通年	80

# 14 研究活動

## ■ 科研費採択状況

□ 文部科学省科学研究費助成事業

種目	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
基盤研究（A）	件数	1	0	0	0	0
	金額	14,040	0	0	0	0
基盤研究（B）	件数	1	1	1	1	0
	金額	5,850	4,030	5,070	2,340	0
基盤研究（C）	件数	24	26	27	27	23
	金額	28,990	38,870	36,660	34,970	26,130
挑戦的萌芽研究 ※1	件数	1	0	0	0	0
	金額	780	0	0	0	0
若手研究（B） ※2	件数	4	2	0	0	0
	金額	3,640	1,950	0	0	0
若手研究 ※3	件数	1	3	4	4	5
	金額	910	2,470	2,470	2,860	6,240
研究活動スタート支援	件数	0	0	0	1	1
	金額	0	0	0	1,560	1,560
特別研究員奨励費	件数	0	0	0	0	0
	金額	0	0	0	0	0
研究成果公開促進費 ※4	件数		1	0	0	0
	金額		460	0	0	0
奨励研究	件数	1	2	4	2	5
	金額	530	1,080	1,800	920	2,230
合計	件数	33	35	36	35	34
	金額	54,740	48,860	46,000	42,650	36,160

金額単位：千円 間接経費含む ※1 平成29年度より募集停止 ※2 平成30年度より募集停止

※3 平成30年度より募集開始 ※4 令和元年度採択分から科研費として実施

## ■ 共同研究実施状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
件数	66	59	63	66	62
金額	18,572	26,066	23,234	22,734	25,975

金額単位：千円

## ■ 受託研究・受託事業実施状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
件数	10	13	9	10	10
金額	5,841	9,940	17,284	27,608	42,885

金額単位：千円 間接経費含む

## ■ 寄附金受入状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
件数	32	23	23	22	25
金額	32,095	27,823	36,703	30,844	29,771

金額単位：千円



# 15 国際交流活動

## 国際学術協定校

### □ 米国・ハワイ大学

#### カウアイコミュニティカレッジ

平成21年10月、本校と米国ハワイ州のカウアイコミュニティカレッジ（KCC）と協約書が交わされ、また平成22年11月には、商船学科を設置している4つの高専を加えて全国5高専による包括協定が締結され、教員を対象として国際交流プログラムの推進や海事に関する専門知識の共有と向上、技術及び教育における連携を進めています。

現在、本校学生がKCCにおいて国際インターンシップや英語圏異文化実習を受講する一方で、KCCの学生も本校へ短期留学するなど、盛んな交流を行っています。

### □ 英国・北アイルランド

#### サウスイースタン地区連合カレッジ

英国北アイルランドサウスイースタン地区連合カレッジ(SERC)とは、平成22年3月に交流協定書に調印し、専攻科の国際インターンシップを行っています。現在も教員の相互訪問を続けながら国際交流活動を推進しています。

### □ ハンガリー・ハンガリー科学アカデミーMFA、 パズマニー・ペーテルカトリック大学PPCU、 ブタペスト工科大学BME

平成27年、ブタペスト市内の上記3つの研究機関、MFA、PPCU、BMEとの国際学術協定を締結しました。

MFAはハンガリー科学アカデミーの下部組織で、欧州内でも研究レベルの高い機関として、ナノ材料やナノシステムなどの研究を行っています。PPCUは360年の歴史を有するハンガリー最古の大学の一つであり、現在は情報工学と生体工学を柱とした21世紀の産業を担う学術領域の立上げを目指しています。BMEはハンガリー最大の大学であり、世界中のトップ企業とも共同研究を進めている学際性、国際性に優れた大学です。

今後、研究者および学生の交流を促進させ、連携を通じた本校の研究・教育の発展をめざします。

### □ タイ・キングモンクット工科大学ラカバン校

国立高等専門学校機構の包括協定校であるタイ・キングモンクット工科大学ラカバン校（KMITL）とは、平成25年8月に交流協定書に調印し、短期留学生を相互に受け入れ入れています。また同大学から教員を招へいし、学生向け講義を実施したり、年1回程度、国際共同セミナーを実施したりしています。

### □ タイ・ランブーン農業技術カレッジ

平成27年に交流協定を締結しました。本校の学生とペヤを組み、タイにある日系企業でインターンシップを行う枠組みでの交流を実施しております。

### □ 中国・東北大学

東北大学(中国遼寧省瀋陽市)との国際学術交流は本校の前身の一部である富山工業高等専門学校が平成15年12月に協定を締結したことに始まります。本校の統合に伴い、より深化した国際交流を目的として平成22年10月に再調印しました。

東北大学は、中国でトップクラスの実力を有し、国家重点大学の一つです。これまで、東北大学研究者の中期招聘研究交流、本校教員の長期海外研究員派遣、国際共同セミナーの実施等が行われています。

### □ シンガポール・テマセクポリテクニク、 ナンヤンポリテクニク

両校とは、平成23年、25年にそれぞれ交流協定を締結しており、主として短期留学生の受入による交流を継続的に実施しております。

### □ フィンランド・ヴァーサ・リュセオ高等学校

平成29年に交流協定を締結しました。現在、主に低学年の学生交流を実施しております。



キングモンクット工科大学からの短期留学生と本校学生の交流学習



KCCでのカヌー実習



アブダビ海事学校からの訪問



SERCでのロボット制御実習

## ■海外研修プログラム

学生の異文化体験と英語力の向上、さらには海外での実務経験を目的とする海外研修プログラムが平成18年より開始されました。海外研修プログラムの開設に先立っては、研修相手校との協定締結や、本校教員による研修中の支援体制の整備など、安全かつ円滑な海外研修の実施に配慮しています。

### □1年留学プログラム

平成18年にカナダ西海岸のナナイモ市にあるバンクーバーアイランド大学附属高校との間に留学に関する協定を結び、平成20年4月より1年間の留学プログラムを実施しています。



バンクーバーアイランド大学附属高校留学中の学生

### □半年留学プログラム

平成17年に留学に関する協定を結び、平成18年4月より、異文化体験と英語研修を行っています。国際ビジネス学科の4年生を対象に、カナダ西海岸のビクトリア市にあるビクトリア大学イングリッシュ・ランゲージ・センターで約5ヶ月活動するプログラムです。



ビクトリア大学イングリッシュ・ランゲージ・センター留学中の学生

### □異文化実習

研修先 韓国、台湾、ロシア、米国(カリフォルニア州、ハワイ州)の各教育機関

対象 本科3～5年生(但し、米国は本科2～5年生)

期間 3～4週間

内容 語学やそれぞれの国の文化等を学ぶ実習

### □米国・ハワイ州国際インターンシップ

研修先 ハワイ大学カウアイコミュニティカレッジ  
(平成21年交流協定締結)

対象 専攻科生(海事システム工学専攻)・本科3～5年生(商船学科)

期間 2～3週間

内容 ポリネシア伝統航海術等の海事技術研修・語学訓練

### □英国・北アイルランド国際インターンシップ

研修先 現地企業・サウスイースタン地域連合カレッジ(平成22年交流協定締結)

対象 専攻科生(国際ビジネス学専攻・制御情報システム工学専攻)

期間 4週間

内容 国際ビジネス専攻：企業実習・カレッジでの専門講習(各2週間)

工学系専攻：語学研修・実務訓練(各2週間)

### □東南アジア海外インターンシップ

研修先 県内企業のタイ・マレーシア現地法人

対象 専攻科生・本科4年生

期間 2～3週間

内容 実務研修

### □アカデミック インターンシップ

研修先 ハンガリー、タイの大学・研究機関

対象 専攻科生

期間 4週間程度

内容 研究室に配属し、提携校・期間の指導教員の下で各自の研究課題に取り組む

## ■短期留学生受入

国立高等専門学校機構との包括協定に基づき、平成24年4月より、タイ・キングモンクット工科大学ラカバン校から短期留学生を受け入れています。平成25年8月には本校と交流協定を締結し、受け入れ人数をさらに増やして交流を拡大しています。

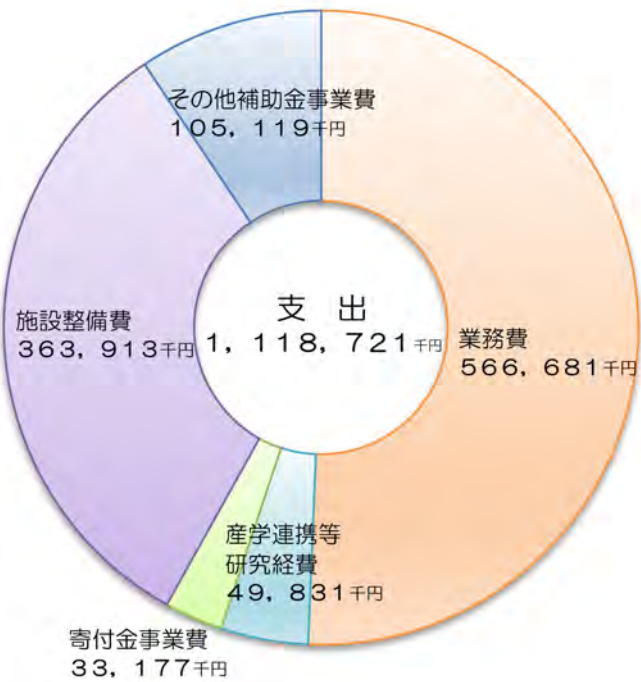
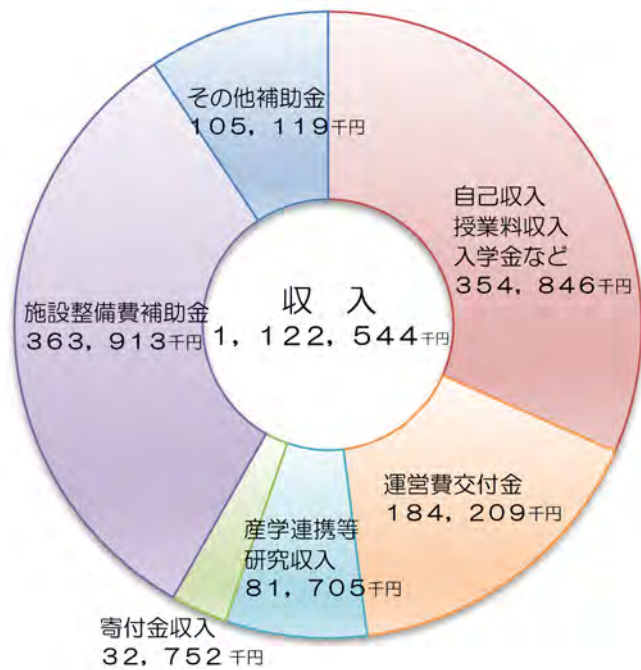
また、国立高等専門学校機構の包括提携校であり、本校の交流提携校でもあるシンガポール・テマセクポリテクニク及びナンヤンポリテクニクからも、短期留学生を受け入れています。



タイ短期留学生の修了式

# 16 財務状況

## 令和4年度予算



## 施設

### [本郷キャンパス]

区分	団地名	本郷団地	旭団地	計
土地	校舎敷地	55,472		55,472
	屋外運動場敷地	36,561		36,561
	寄宿舍敷地	12,535		12,535
	職員宿舍敷地	2,863	365	3,228
	合計	107,431	365	107,796

(単位：㎡)

区分	団地名	本郷団地	旭団地	計
建物	校舎	13,973		13,973
	体育館	3,674		3,674
	寄宿舍	4,493		4,493
	図書館	1,633		1,633
	福利施設	1,227		1,227
	管理部	1,483		1,483
	その他	1,023		1,023
	設備室	245		245
	職員宿舍 (戸数)	789 (12)	105 (1)	894 (13)
	合計	28,540	105	28,645

(単位：㎡)

### [射水キャンパス]

区分	団地名	海老江練合団地	堀江千石団地	計
土地	校舎敷地	45,336		45,336
	屋外運動場敷地	41,703		41,703
	寄宿舍敷地	15,808		15,808
	実験実習地		11,232	11,232
	職員宿舍敷地	6,962		6,962
合計	109,809	11,232	121,041	

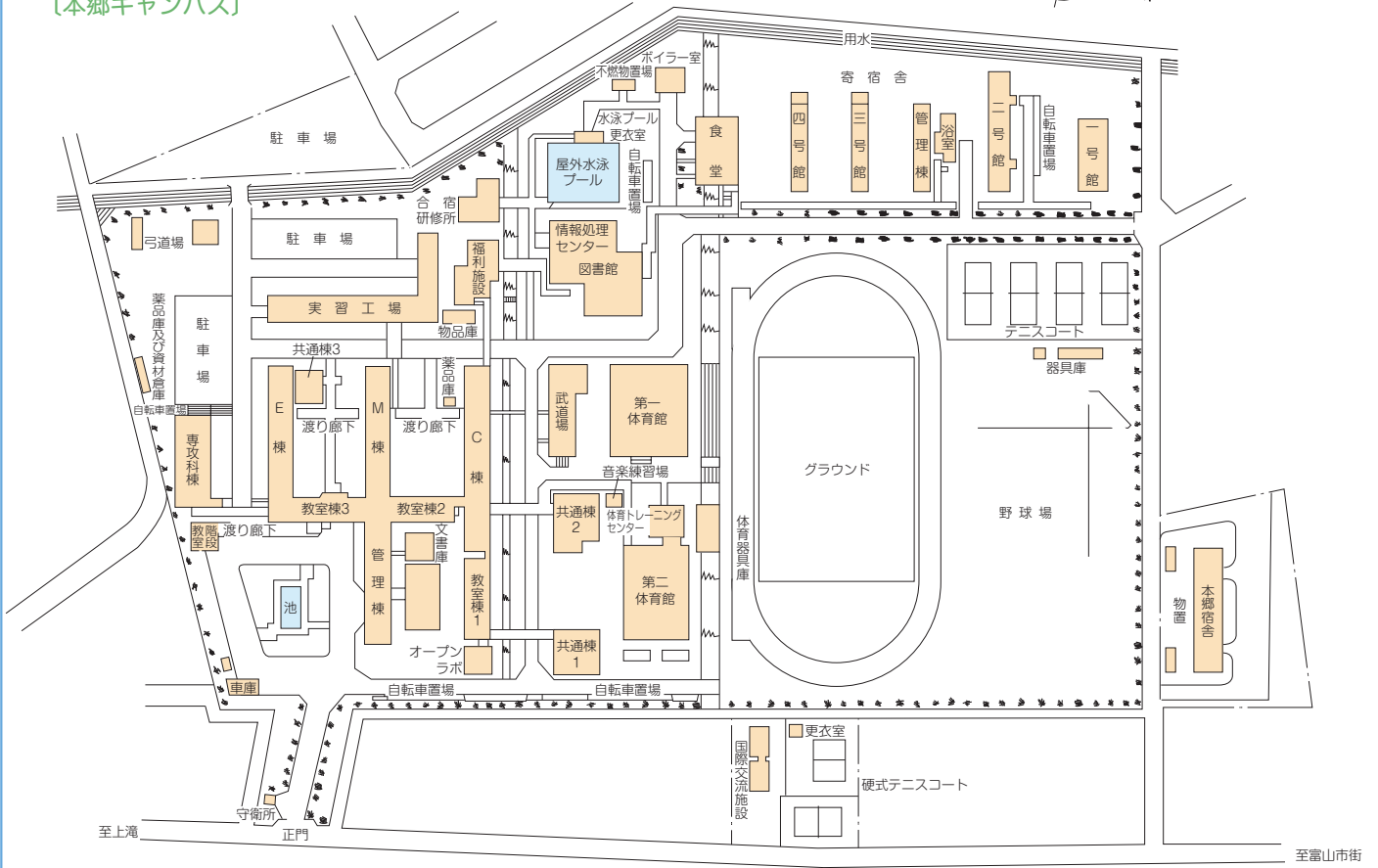
(単位：㎡)

区分	団地名	海老江練合団地	堀江千石団地	計
建物	校舎	14,099	1,423	15,522
	体育館	3,031		3,031
	寄宿舍	7,029		7,029
	図書館	1,626		1,626
	福利施設	1,347		1,347
	管理部	1,537		1,537
	その他	996		996
	設備室	399		399
	職員宿舍 (戸数)	639 (9)		639 (9)
	合計	30,703	1,423	32,126

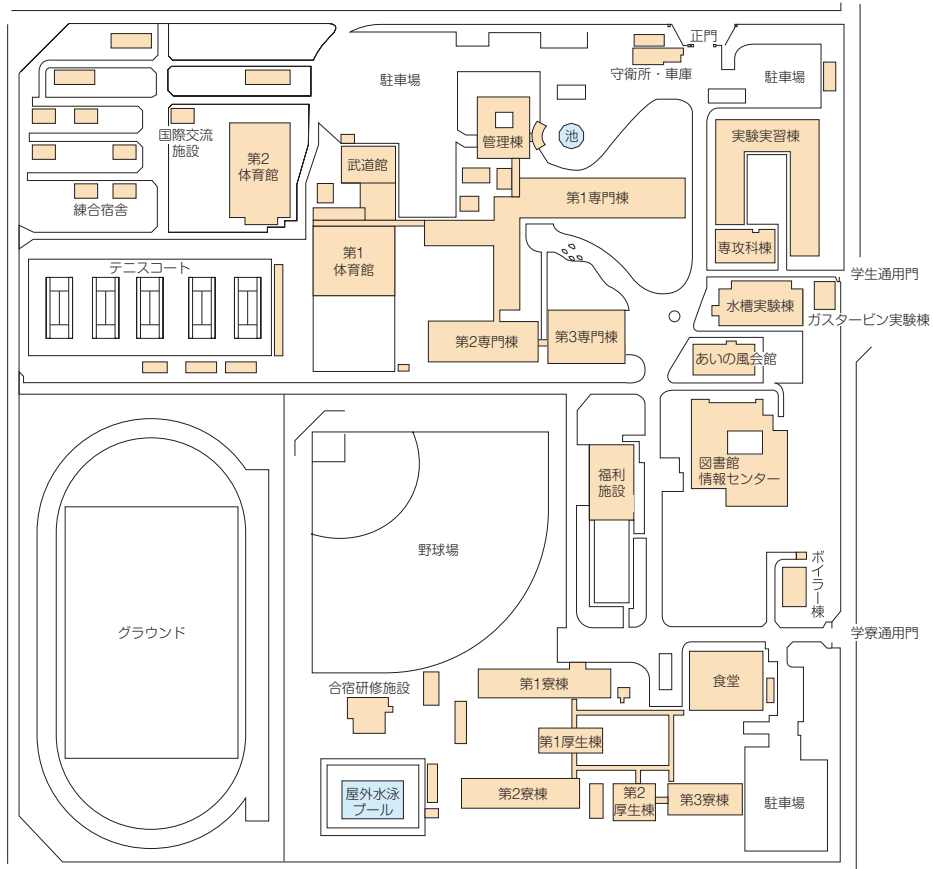
(単位：㎡)

## ■ キャンパスマップ

[本郷キャンパス]



[射水キャンパス]



# 17 在学状況

## ■ 学生の定員と現員

令和5年5月1日現在

定員	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	実習生	専攻科 1学年	専攻科 2学年	合計
機械システム工学科 40名		41 (5)	43 (6)	39 (3)	41 (3)	34 (7)				198 (24)
電気制御システム工学科 40名		42 (9)	42 (6) ①	48 (4) ①	40 (4) ①	41 (6)				213 (29) ③
物質化学工学科 40名		40 (28)	44 (24) ①	43 (21) ①	42 (22) ①	44 (22) ①				213 (117) ④
電子情報工学科 40名		43 (11) ③	42 (13) ①	46 (16)	44 (10)	38 (10)				213 (60) ④
国際ビジネス学科 40名		42 (35)	45 (37)	45 (36)	39 (36)	39 (38)				210 (182)
商船学科 航海コース 20名 40名 機関コース 20名		43 (13)	39 (17)	20 (6) 23 (3)	21 (8) 19 (2)	21 (11) 21 (7)	19 (2) 20 (3)			246 (72)
エコデザイン工学専攻 24名								27 (3)	30 (4)	57 (7)
制御情報システム工学専攻 8名								11 (1)	14 (4)	25 (5)
国際ビジネス学専攻 4名								6 (6)	5 (2)	11 (8)
海事システム工学専攻 4名								7 (4)	6 (2)	13 (6)
合計		251 (101) ③	255 (103) ③	264 (89) ②	246 (85) ②	238 (101) ①	39 (5)	51 (14)	55 (12)	1399 (510) ⑩

注1 ( )内数字は、女子学生数を内数で示す。 注2 ○内数字は、外国人留学生数を内数で示す。

## ■ 出身地別在学学生数

[本郷キャンパス]

令和5年5月1日現在

所在地	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	専攻科 1学年	専攻科 2学年	合計
富山県		114 (39)	115 (34)	119 (23)	119 (27)	115 (33)	26 (3)	29 (4)	637 (163)
石川県			1		1	1	1		4
東京都				1 (1)					1 (1)
神奈川県		2	1						3
新潟県				2	1 (1)				3 (1)
福井県			1 (1)						1 (1)
長野県		1 (1)				1 (1)			2 (2)
岐阜県		4 (1)	5	5 (3)				1	15 (4)
静岡県						1 (1)			1 (1)
愛知県			2	1 (1)					3 (1)
三重県		1 (1)							1 (1)
滋賀県		1	2						3
外国			2 (1)	2	2 (1)	1			7 (2)
合計		123 (42)	129 (36)	130 (28)	123 (29)	119 (35)	27 (3)	30 (4)	681 (177)

( ) は、女子で内数

[射水キャンパス]

令和5年5月1日現在

所在地	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	実習生	専攻科 1学年	専攻科 2学年	合計
富山県		98 (49)	96 (53)	106 (52)	94 (45)	90 (48)	26 (3)	23 (10)	25 (8)	558 (268)
石川県		10 (5)	7 (5)	4 (1)	7 (5)	6 (3)	3 (2)	1 (1)		38 (22)
北海道				1						1
青森県						1 (1)				1 (1)
宮城県				3	1 (1)		1			5 (1)
山形県			1	1						2
福島県						1 (1)				1 (1)
茨城県			1			2 (1)				3 (1)
群馬県		1	1		1					3
栃木県			2 (2)							2 (2)
千葉県		1	3 (1)		1					5 (1)
埼玉県		1		1			1			3
東京都		1	1 (1)	1	1	5 (1)				9 (2)
神奈川県				2 (1)		2 (1)	2			6 (2)
新潟県		2 (1)		1	2	1 (1)	1			7 (2)
福井県					1					1
長野県			3 (2)	2 (1)	2 (2)	1 (1)	1			9 (6)
岐阜県		2 (1)	5 (2)	6 (3)	7 (2)	3 (3)	1			24 (11)
静岡県		2 (2)	2		1 (1)	1 (1)	1			7 (4)
愛知県		4		2 (1)			1			7 (1)
三重県					1					1
滋賀県			3 (1)			2 (2)				5 (3)
京都府				1		1				2
大阪府		1		1 (1)	2					4 (1)
奈良県		1								1
兵庫県				1 (1)	1	2 (1)	1			5 (2)
香川県				1						1
福岡県					1					1
熊本県						1 (1)				1 (1)
鹿児島県		1								1
外国		3 (1)	1							4 (1)
合計		128 (59)	126 (67)	134 (61)	123 (56)	119 (66)	39 (5)	24 (11)	25 (8)	718 (333)

( ) は、女子で内数

# 18 入試状況

## ■ 本科入学者選抜

学 科	入学定員	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数
機械システム工学科	推薦	18	18	18	31	31	21	22	22	22	20	20	20	18	18	18
	学力	46	46	23	64	64	21	45	45	21	38	38	23	34	34	24
	帰国生徒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全体	64	64	41	85	85	42	67	67	43	57	57	43	52	52	42
電気制御システム工学科	推薦	30	30	20	35	35	20	25	25	20	29	29	21	22	22	22
	学力	60	59	23	57	56	23	45	43	24	39	39	21	29	29	20
	帰国生徒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全体	80	80	43	78	78	43	65	64	44	59	59	42	51	51	42
物質化学工学科	推薦	44	44	21	39	39	21	44	44	20	41	41	23	44	44	20
	学力	62	62	20	59	59	20	55	50	23	50	50	19	33	32	20
	帰国生徒	1	1	1	0	0	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0
	全体	85	85	42	80	80	41	77	76	43	75	75	43	54	54	40
電子情報工学科	推薦	49	49	20	38	38	20	44	44	24	34	34	20	37	37	20
	学力	76	74	23	72	72	21	74	73	20	50	50	21	37	37	20
	帰国生徒	0	0	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全体	96	96	43	94	94	43	101	101	44	71	71	41	57	57	40
国際ビジネス学科	推薦	62	62	20	66	66	20	73	73	23	73	73	22	69	69	20
	学力	76	73	23	72	70	23	71	71	21	69	67	22	68	65	22
	帰国生徒	0	0	0	2	2	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0
	全体	97	97	43	96	96	43	98	98	44	94	94	44	89	89	42
商船学科	推薦	30	30	20	35	35	22	28	28	20	20	20	20	28	28	20
	学力	49	49	22	50	50	21	47	45	22	37	37	21	35	35	22
	帰国生徒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全体	70	70	42	73	73	43	67	65	42	55	55	41	56	56	42
合 計	推薦	233	233	119	244	244	124	236	236	129	217	217	126	218	218	120
	学力	369	363	134	374	371	129	337	327	131	283	281	127	236	232	128
	帰国生徒	1	1	1	4	4	2	2	2	0	1	1	1	1	1	0
	全体	492	492	254	506	506	255	475	471	260	411	411	254	359	359	248

※各学科の「学力検査による選抜」における「受験者数」は第1志望の「受験者数」、各学科の「合格者数」には第2・3志望合格者数を含む。

※「志願者数」及び「受験者数」の全体は、「推薦による選抜」の数と、「学力検査による選抜」及び「帰国生徒特別選抜」の数から「推薦による選抜」の不合格数で「学力検査による選抜」または「帰国生徒特別選抜」の「志願者数」及び「受験者数」を除いた数を合算したもの。

## ■ 4年次編入学者選抜

学 科	入学定員	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数
機械システム工学科	若干名	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
電気制御システム工学科	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
物質化学工学科	若干名	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0
電子情報工学科	若干名	2	2	1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	0
国際ビジネス学科	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
商船学科	—															
合 計	若干名	2	2	1	2	2	0	1	1	1	3	3	0	3	3	1

## ■ 専攻科入学者選抜

専 攻	入学定員	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数
エコデザイン工学専攻	推薦	25	25	25	19	19	19	17	17	17	21	21	21	16	16	16
	学力	12	8	4	9	8	8	21	20	14	21	21	8	15	14	11
	社会人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全体	37	33	29	28	27	27	38	37	31	42	42	29	31	30	27
制御情報システム工学専攻	推薦	8	11	11	10	10	10	10	10	10	11	11	11	10	10	10
	学力	3	3	3	4	3	3	4	4	4	3	3	2	3	3	2
	社会人	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全体	14	14	14	14	13	13	14	14	14	14	14	13	13	13	12
国際ビジネス学専攻	推薦	4	3	3	5	5	5	2	2	2	2	2	2	5	5	5
	学力	0	0	0	0	0	0	3	3	3	6	5	5	2	2	2
	社会人	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全体	3	3	3	5	5	5	5	5	5	8	7	7	7	7	7
海事システム工学専攻	推薦	4	4	4	0	0	0	6	6	6	5	5	5	5	5	4
	学力	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	0
	社会人	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全体	5	5	5	1	1	1	7	7	7	7	7	7	7	7	4

## ■本科 県外受験者・合格者出身県内訳

出身県	令和元年度				令和2年度				令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	推薦		学力		推薦		学力		推薦		学力		推薦		学力		推薦		学力	
	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数
青森県	1	1																		
岩手県									1	0	1	0								
宮城県			1	0	1	1	1	1	2	2										
山形県					2	0	3	1					1	1						
福島県	2	1					1	0												
茨城県	1	1											2	1	1	0				
栃木県													2	1	1	1			1	
群馬県					1	1							1	1			1	1		
埼玉県	2	0	2	0			1	0	1	1			1	1	1	0	1	1	1	
千葉県	1	0	1	0	2	1	1	0			1	0	3	2	1	1	2	1	1	
東京都	5	4	4	1			1	1	2	1	2	1	1	1	7	1			2	1
神奈川県	2	1	2	0	1	0			5	1	4	1	3	0	3	1	2	1	3	1
新潟県	1	1			3	2	3	1	2	2	1	1					3	1	3	1
石川県	4	1	12	5	9	3	19	5	7	1	17	3	6	3	9	6	8	3	11	7
福井県							1	0					1	1						
長野県	2	1	4	1	3	3			1	0	1	1	3	2	1	1	2	1	1	
岐阜県	7	2	7	1	8	3	7	5	14	10	4	2	12	7	8	2	5	2	5	4
静岡県	2	2			1	1			1	0	2	1			1	1	2	2		
愛知県	1	0	2	0					3	1	2	2			2	2	2	2	4	2
三重県					1	1											1		1	1
滋賀県	1	0	2	2			1	0					3	2	3	3	2	1		
京都府	1	1							1	1			1	0	1	0				
大阪府	2	1	1	0	2	2											1	1		
兵庫県	2	2			1	1	1	0	3	1	2	0	1	0	3	2			1	
奈良県											1	1							1	1
和歌山県									1	1										
島根県													1	0	1	0				
香川県			1	0					2	0	2	1								
福岡県							1	1			1	0					1		1	
熊本県	1	1																	1	
鹿児島県																	1		1	1
帰国生徒			1	1	2	0	3	1	1	0	2	0	0	0	1	1	1	1	1	0
合計	38	20	40	11	37	19	44	16	47	22	44	15	42	23	44	22	35	18	39	19

## ■留学生出身国内訳

出身国	令和元年度						令和2年度						令和3年度						令和4年度						令和5年度						
	機械システム工学	電気制御システム工学	電子情報工学	物質化学工学	国際ビジネス学	商船学	機械システム工学	電気制御システム工学	電子情報工学	物質化学工学	国際ビジネス学	商船学	機械システム工学	電気制御システム工学	電子情報工学	物質化学工学	国際ビジネス学	商船学	機械システム工学	電気制御システム工学	電子情報工学	物質化学工学	国際ビジネス学	商船学	機械システム工学	電気制御システム工学	電子情報工学	物質化学工学	国際ビジネス学	商船学	
タイ			1			1													1	1	2			4			2	4	2		8
インドネシア							1					1																	1		1
カンボジア															1														1		1
アルジェリア																				1					1			1			1
合計			1			1	1					1	1		1				2	2	1	2		5			3	4	4		11

# 19 進路状況

求人倍率も就職率も高いのが、富山高等専門学校の特徴です。産業界に高く評価され、卒業生・修了生は県内外の企業や官公庁で活躍しています。

また、卒業後は4年制大学の3年次（一部2年次）に編入学できます。本校をはじめとする高等専門学校の専攻科（2年制）にも進学できます。これまで卒業生の約半数が、進学の道を選択しています。

## 進学

### 機械システム工学科

**国立** 富山高等専門学校専攻科、秋田大学、東北大学、筑波大学、埼玉大学、千葉大学、東京大学、東京工業大学、東京農工大学、新潟大学、長岡技術科学大学、富山大学、金沢大学、福井大学、信州大学、名古屋大学、豊橋技術科学大学、京都工芸繊維大学、大阪大学、岡山大学

**私立** 工学院大学

### 電気制御システム工学科

**国立** 富山高等専門学校専攻科、東北大学、筑波大学、宇都宮大学、群馬大学、千葉大学、東京大学、東京工業大学、東京農工大学、横浜国立大学、新潟大学、長岡技術科学大学、富山大学、金沢大学、静岡大学、名古屋大学、豊橋技術科学大学、大阪大学、岡山大学、徳島大学

**公立** 富山県立大学、大阪公立大学

**私立** 早稲田大学、立命館大学

### 物質化学工学科

**国立** 富山高等専門学校専攻科、山形大学、東北大学、群馬大学、千葉大学、東京工業大学、東京農工大学、新潟大学、長岡技術科学大学、富山大学、金沢大学、信州大学、名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、京都大学、京都工芸繊維大学、大阪大学、奈良女子大学、岡山大学、広島大学、九州大学、鹿児島大学

**公立** 高崎経済大学、東京都立大学

### 電子情報工学科

**国立** 富山高等専門学校専攻科、筑波大学、宇都宮大学、千葉大学、新潟大学、長岡技術科学大学、富山大学、金沢大学、静岡大学、豊橋技術科学大学、奈良女子大学、神戸大学、広島大学、九州大学、鹿屋体育大学

### 国際ビジネス学科

**国立** 富山高等専門学校専攻科、北海道大学、筑波大学、埼玉大学、お茶の水女子大学、東京外国語大学、千葉大学、新潟大学、富山大学、金沢大学、信州大学、名古屋大学、三重大学、滋賀大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、奈良女子大学、広島大学、香川大学、九州大学、鹿屋体育大学

**公立** 長野大学、大阪公立大学

**私立** 駒澤大学、上智大学、中央大学、日本大学、明治大学、南山大学、京都女子大学、大阪経済大学、関西大学

**外国** アーカンソー大学（州立）

### 商船学科（航海コース）

**国立** 富山高等専門学校専攻科、東京海洋大学、神戸大学

### 商船学科（機関コース）

**国立** 富山高等専門学校専攻科、東京海洋大学、長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学、神戸大学

### エコデザイン工学専攻

**国立** 東北大学大学院、福島大学大学院、筑波大学大学院、東京医科歯科大学大学院、東京工業大学大学院、長岡技術科学大学大学院、上越教育大学大学院、富山大学大学院、金沢大学大学院、福井大学大学院、北陸先端科学技術大学院大学、信州大学大学院、名古屋大学大学院、豊橋技術科学大学大学院、京都大学大学院、京都工芸繊維大学大学院、大阪大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学

**公立** 東京都立大学大学院、富山県立大学大学院、大阪公立大学大学院

### 制御情報システム工学専攻

**国立** 東北大学大学院、東京工業大学大学院、富山大学大学院、金沢大学大学院、北陸先端科学技術大学院大学、豊橋技術科学大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、大阪大学大学院

### 国際ビジネス学専攻

**国立** 北陸先端科学技術大学院大学





## 就職

### 機械システム工学科

YKK、YKK AP、エヌアイシ・オートテック、中越合金鋳工、中田鉄工所、キッツ、コマツNTC、KANAYA、新東工業、スギノマシン、ダイキン工業、小矢部精機、不二越、ファインネクス、セイコーエプソン、東芝エレベータ、浜松ホトニクス、日立ビルシステム、富士電機、立山科学グループ、パナソニック、東海旅客鉄道、SUBARUテクノ、日産オートモーティブテクノロジー、日産エンジニアリング、BBSジャパン、ユニオンテクノ、三菱電機エンジニアリング、三菱電機ビルテクノサービス、佐藤工業、新明和工業、宮本工業所、日本原子力発電、北陸電力、JR東海、JR貨物、東海旅客鉄道、ANAラインメンテナンステクノクス、成田空港給油施設、SIS、中田モーターズ、日揮グローバル、田辺工業、キリンパレージ、サントリースピリッツ、花王、ピー・アンド・ジー、昭和電工セラミックス、日東電工、日本ゼオン、富士フィルムビジネスエキスパート、アステラスファーマテック、大塚製薬工場、クラシエ製薬、ユースキン製薬、第一工業製薬、協和ファーマケミカル、出光興産、シロウマサイエンス、ミユキ化成、国立印刷局、航空自衛隊

### 電気制御システム工学科

北陸電力、北陸電気保安協会、中部電力、中部電力パワーグリッド、関西電力、東京電力ホールディングス、東京ガス、JR東海、JR西日本、JR貨物、あいの風とやま鉄道、日本空調北陸、日本海電業、ダイタン、中越バルブ工業、日本ゼオン、電源開発、富士フィルム、クラシエ製薬、第一三共プロファーマ、第一工業製薬、協和ファーマケミカル、三晶MEC、YKK、YKK AP、ダイキン工業、日本オーチス・エレベータ、不二越、ヤマザキマザック、日清工業、インダ、ファインネクス、セイコーエプソン、ソニーGM&O、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、パナソニックアプライアンス社、浜松ホトニクス、日立造船、KOKUSA I E L E C T R I C、富士通エフサス北陸カスタマーサービス、富山村田製作所、立山科学グループ、北陸電気工業、コーセル、シートシステムズ、シキノハイテック、フレックス、SUBARUテクノ、マツダ、日産エンジニアリング、マブチモーター、三菱電機ビルテクノサービス、東京R&D、NTT東日本、NTTデータ、NTTコムソリューションズ、NTTデータNJJK、メンバーズ、成和システムエンジニアリング、Na I T O、エヌアイ、ティ、Asian Bridge、北銀ソフトウエア、オリックスファシリティーズ、アウトソーシングテクノロジー、国立印刷局、日本原子力研究開発機構

### 物質化学工学科

東亜合成、日東電工、日本曹達、日本ゼオン、日本触媒、富士フィルム富山化学、三井化学分析センター、アステラスファーマテック、クラシエ製薬、第一三共プロファーマ、太陽ファルマテック、日医工、富山小林製薬、協和ファーマケミカル、ピー・アンド・ジー、十全化学、大和薬品工業、立山化成、立山製薬工場、東亜薬品、日東メディック、前田薬品工業、シミックCMO、出光興産、キタノ製作、三晶MEC、塩谷硝子、YKK、コージン、ダイキン工業、プラザー工業、FCM、北陸LIXIL製作所、北陸電気工業、大阪ガス、関西電力、東京都下水道サービス、昭和電工、昭和電工セラミックス、デンカ、サントリースピリッツ、サントリースピール、サントリープロダクツ、森永乳業、雪印メグミルク、中越バルブ工業、日本ペイント、花王、資生堂、黒川製作所、MSグループ、モラボデモス、富山市役所

### 電子情報工学科

アイフォーコム、アルファシステムズ、池上通信機、NTTフィールドテクノ、日本オーチス・エレベータ、DMM.comラボ、テックファーム、日通システム、日本システムワフ、FIXER、ピーネックスソリューションズ、富士ソフト、富士フィルム、メンバーズ、アスプロコミュニケーションズ、アテック、東京ウエルズ、北陸コンピュータ・サービス、共同コンピュータ、日本オープンシステムズ、シオプロ、北銀ソフトウエア、HBA、CAC、立山科学グループ、パナソニックシステムソリューションズジャパン、KOKUSA I E L E C T R I C、富士通ネットワークソリューションズ、日立ハイシステム21、三菱電機ビルテクノサービス、東京ガス、中部電力、関西電力、北陸電力、JR東日本、JR西日本、サントリープロダクツ、朝日印刷、クラシエ製薬、YKK、YKK AP、立山マシン、北陸LIXIL製作所、三和工機、不二越、牧野フライス製作所、明和eテック、ファインネクス、マイスターエンジニアリング、NECネットエスアイ、国立印刷局

### 国際ビジネス学科

参議院、外務省、経済産業省、国土交通省、防衛省、金融庁、東京税関、大阪税関、国立研究開発法人水産研究・教育機構、国立大学法人東京大学、国立大学法人富山大学、東京都庁、富山県庁、富山県警察、三耐保温、YKK、YKK AP、不二越、ファインネクス、東洋電機製作所、中部電力、北陸電力、東京都下水道サービス、JR西日本ヴィアイン、JALスカイ、コネクシオ、セカンドゲート、マーキュリー、Life Foundation、あて、ラルフローレン、ザ・リッツカールトン沖縄

### 商船学科（航海コース）

エムエスケイ、NSユナイテッド海運、NSユナイテッド内航マリン、商船三井オーシャンエキスパート、宇徳、津軽海峡フェリー、日東物流、日本通運、日本海運、旭海運、山九、上野トランステック、オーシャントランス、鹿児島船舶、クルーズプラネット、ケイヒン、五栄土木、佐渡汽船シッフマネジメント、新日本海サービス、新日本海フェリー、琵琶湖汽船、第一中央内航、タイトーコーポレーション、辰巳商會、東幸海運、ニッスイマリン工業、日本海曳船、日本港運、福寿船舶、北星海運、明和タンカー、新潟造船、ユニエックスNCT、トレンドジャパン、日本海事協会、新日本検定協会、海上保安庁

### 商船学科（機関コース）

日本郵船、NSユナイテッド海運、NSユナイテッド内航マリン、商船三井、商船三井オーシャンエキスパート、川崎汽船、川崎近海汽船、JXオーシャン、上野トランステック、大光船舶、鹿児島船舶、共栄マリン、ケイヒン、播洋実業、佐渡汽船シッフマネジメント、新日本海フェリー、太平洋貿易、共栄タンカー、ショクコタンカー、日本海曳船、早駒運輸、福寿船舶、朝日工業社、日広冷熱、YKK、YKK AP、東し、日本ゼオン、ダイキン工業、ダイキンアプライドシステムズ、ヤンマーエンジニアリング、日立ビルシステム、出光興産、IHI原動機、寺崎電気産業

### エコデザイン工学専攻

大林組、正栄産業、サントリープロダクツ、朝日印刷、DIC、カネカ、昭和電工セラミックス、住友化学、東ソー・ゼオラム、日本曹達、富士フィルム、アイザック、富山環境整備、クラシエ製薬、同仁医薬化工、富士薬品、救急薬品工業、廣貴堂、東亜薬品、トーキン、YKK、YKK AP、サンエツ金属、シーケー金属、アマダ、スギノマシン、DMG森精機、武内プレス工業、ダイヤモンドエンジニアリング、協和マシン、SMK、セイコーエプソン、ソニーGM&O、日立造船、アイリスオーヤマ、富山富士通、富士化学工業、ホンダテクノフォート、ゼオンノース、東京エレクトロニックグループ、立山科学グループ、KOKUSA I E L E C T R I C、北陸電気工業、SUBARUテクノ、クリエイションライン、日本原子力発電、北陸電力、JR東海、ゼンリン、バイスリープロジェクト、システック牛島、富山中央青果、共和コーポレーション、マイスターエンジニアリング、橋開発、富山市役所、射水市役所

### 制御情報システム工学専攻

アルファシステムズ、東京ウエルズ、不二越、明和eテック、網屋、関西電力、ピーネックスソリューションズ、日東電工、パナソニックインダストリアルソリューションズ社、トヨタ自動車、KOKUSA I E L E C T R I C、富士通、富士通クラウドテクノロジーズ、富士通ネットワークソリューションズ、PFU、富士電機、メトロ、メンバーズ、インテック、CAICA、エニシフルコンサルティング、北銀ソフトウエア、高エネルギー加速器研究機構

### 国際ビジネス学専攻

アミークス、スガキ、YKK、北日本物産、北陸チュリップ、学研ココファン・ナーサリー、保志、Another works

### 海事システム工学専攻

朝日工業社、フルテック、東亜合成、YKK、日清工業、堀江商会、旭タンカー、川崎汽船、日本通運、鶴見サンマリン、東海運、日本海曳船、正栄汽船、新日本検定協会、島大証券、国土交通省、独立行政法人海技教育機構







## ■ アクセスマップ



### 本郷キャンパス

〒939-8630 富山県富山市本郷町 13  
TEL:076-493-5402 FAX:076-492-3859

- バス/富山駅南口バスターミナル 5 番乗り場から「国立高専」行きに乗車～約30分～国立高専前 [終点] 下車、徒歩0分
- 電車/電鉄富山駅からの場合  
「岩崎寺」行きに乗車～約14分～小杉駅下車、徒歩15分  
岩崎寺駅からの場合  
「電鉄富山」行きに乗車～約15分～布市駅下車、徒歩15分

### 射水キャンパス

〒933-0293 富山県射水市海老江練合 1 の 2  
TEL:0766-86-5100 FAX:0766-86-5130

- バス/富山駅南口バスターミナル 3 番乗り場から「新港東口」行きに乗車～約30分～「練合」下車、徒歩2分  
または「国立高専射水」行きに乗車～約30分～「国立高専射水」(終点)下車  
富山駅北口バスターミナル 2 番乗り場から「国立高専射水」行きに乗車～約40分～「国立高専射水」(終点)下車  
高岡駅北口バスターミナル 4 番乗り場から「富山高専」行きに乗車～約45分～「富山高専」(終点)下車

○コミュニティバス/射水市のコミュニティバスも利用可

<https://www.nc-toyama.ac.jp>